

保健学科教育学修プログラム

看護学専攻

2019年度

3年次

【米子地区授業時間】

1時限	: 8:40 ~ 10:10
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:50 ~ 16:20
5時限	: 16:40 ~ 18:10

【鳥取地区授業時間】

1時限	: 8:45 ~ 10:15
2時限	: 10:30 ~ 12:00
3時限	: 13:00 ~ 14:30
4時限	: 14:45 ~ 16:15
5時限	: 16:30 ~ 18:00

2019年度 授業時間配当表(保健学科看護学専攻3年次)

前 期									
前半(8)					後半(8)				
月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	看護研究方法論	医療英語 I	医療情報システム学	公衆衛生看護学演習	成人看護学演習	看護研究方法論	医療英語 I		成人看護学演習
2	在宅看護学演習	助産診断・技術学 I	人類遺伝学	公衆衛生看護学演習	助産診断・技術学 I		人類遺伝学	公衆衛生看護学演習	助産診断・技術学 II
3	健康の危機と看護	尊厳のある死と看護	小児家族看護学演習		母性家族看護学演習 II	生活援助論演習 III	尊厳のある死と看護	小児家族看護学演習	
4				母性家族看護学演習 II	生活援助論演習 III		在宅看護学演習		
5									

* 臨地実習 9月から開始

後 期									
前半(8)					後半(8)				
月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1	助産業務管理論	臨地実習	臨地実習	臨地実習		臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習
2	医療英語 II	臨地実習	臨地実習	臨地実習	医療英語 II	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習
3	家族看護論	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習
4	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習
5	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習	臨地実習

* 助産診断技術学演習 I 9、11、1、2、3月に集中講義

* 看護の統合 2月に集中講義

16週制

2019年度・七曜表

(看護学専攻3年次)

	前 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
4		1	2	3	4	5	6	1
	7	8	9	10	11	12	13	2
	14	15	16	17	18	19	20	3
	21	22	23	24	25	26	27	4
	28	29	30	1	2	3	4	
5	5	6	7	8	9	10	11	5
	12	13	14	15	16	17	18	6
	19	20	21	22	23	24	25	7
	26	27	28	29	30	31	1	8
6	2	3	4	5	6	7	8	9
	9	10	11	12	13	14	15	10
	16	17	18	19	20	21	22	11
	23	24	25	26	27	28	29	12
7	30	1	2	3	4	5	6	13
	7	8	9	10	11	12	13	14
	14	15	16	17	18	19	20	15
	21	22	23	24	25	26	27	16・試
8	28	29	30	31	1	2	3	試
	4	5	6	7	8	9	10	再 試
	11	12	13	14	15	16	17	
	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	
9	1	2	3	4	5	6	7	1
	8	9	10	11	12	13	14	2
	15	16	17	18	19	20	21	3
	22	23	24	25	26	27	28	4
	29	30						5

	後 期							週 数
	日	月	火	水	木	金	土	
10			1	2	3	4	5	5
	6	7	8	9	10	11	12	6
	13	14	15	16	17	18	19	7
	20	21	22	23	24	25	26	8
	27	28	29	30	31	1	2	9
11	3	4	5	6	7	8	9	10
	10	11	12	13	14	15	16	11
	17	18	19	20	21	22	23	12
	24	25	26	27	28	29	30	13
12	1	2	3	4	5	6	7	14
	8	9	10	11	12	13	14	15
	15	16	17	18	19	20	21	16
	22	23	24	25	26	27	28	17
	29	30	31	1	2	3	4	
1	5	6	7	8	9	10	11	18
	12	13	14	15	16	17	18	19
	19	20	21	22	23	24	25	20
	26	27	28	29	30	31	1	21
2	2	3	4	5	6	7	8	22
	9	10	11	12	13	14	15	23
	16	17	18	19	20	21	22	24
	23	24	25	26	27	28	29	25
3	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	
	15	16	17	18	19	20	21	
	22	23	24	25	26	27	28	
	29	30	31					

備考

- ◇ 5月7日(火) 月曜日授業
- ◇ 6月1日(土) 開学記念日
- ◇ 7月24日(水) 定期試験期間開始
- ◇ 8月6日(火) 定期試験期間終了
- ◇ 8月7日(水) 再試験期間開始
- ◇ 8月20日(火) 再試験期間終了

- ◇ ※月曜日午前は定期試験、22週目
- ◇ ※月曜日午前は再試験、24週目
- ◇ 5週目～21週目までの月曜午後は臨地実習も含む

第1Q	月曜授業	火曜授業	水曜授業	木曜授業	金曜授業
第2Q	月曜授業	火曜授業	水曜授業	木曜授業	金曜授業
	臨地実習	臨地実習(午後)			

保健学科看護学専攻3年次目次

前期

	区分	授業科目名	
	必修 外国語	医療英語Ⅰ(ウィルシャー)	 1
	必修 外国語	医療英語Ⅰ(ジアディーン)	 2
	必修 専門科目	医療情報システム学	 3
	選必 専門科目	人類遺伝学	 4
	必修 専門科目	生活援助論演習Ⅲ	 5
	必修 専門科目	成人看護学演習	 6
	必修 専門科目	健康の危機と看護	 7
○	必修 専門科目	尊厳のある死と看護	 8
	必修 専門科目	母性家族看護学演習Ⅱ	 9
	必修 専門科目	小児家族看護学演習	 10
	必修 専門科目	公衆衛生看護学演習	 11 ~ 12
○	必修 専門科目	在宅看護学演習	 13
	必修 専門科目	看護研究方法論	 14
	選択 専門科目	助産診断・技術学Ⅰ	 15
	選択 専門科目	助産診断・技術学Ⅱ	 16

後期

	区分	授業科目名	
	必修 外国語	医療英語Ⅱ(ウィルシャー)	 17
	必修 外国語	医療英語Ⅱ(戸野)	 18
	必修 専門科目	成人看護学実習Ⅰ	 19
	必修 専門科目	成人看護学実習Ⅱ	 20
	必修 専門科目	老年看護学実習	 21
	必修 専門科目	母性家族看護実習	 22
	必修 専門科目	小児家族看護学実習	 23
	必修 専門科目	公衆衛生看護学実習	 24
	必修 専門科目	精神看護学実習	 25
	必修 専門科目	在宅看護学実習	 26
○	必修 専門科目	家族看護論	 27
	必修 専門科目	看護の統合	 28
	選択 専門科目	助産診断技術学演習Ⅰ	 29
	選択 専門科目	助産業務管理論	 30

※選択科目:選択、選択必修科目:選必、必修科目:必修は平成29年度入学者を基準としています。

※主題、基幹(人文・社会分野)から卒業までに15単位以上修得してください。

※専門科目については、課程表を確認してください。

※助産師の取得を目指す者は、人類遺伝学、助産診断・技術学Ⅰ・Ⅱ、助産診断技術学演習Ⅰ、助産業務管理論を修得してください。

※○は、公開授業講座となり、一般の方が講義を受講されることがあります。

授業のレベルについて

- 1: 入門及び初級レベル
- 2: 中級レベル(基礎科目)
- 3: 中級～上級レベル(応用科目)
- 4: 上級レベル(発展科目)
- 5: 大学院レベル

医療英語 I (ウィルシヤークラス)

科目到達目標: Being a Good Medical English Speaker

科目責任者 (所属教室): ティム・ウィルシヤーク (基礎看護学)

連絡先: 研究室TEL: 0859-38-6301

email: timw@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/2(火)	1	231	Self-introductions, course explanation	ウィルシヤーク	基礎看護学		
2	4/9(火)	1	231	Unit 1	ウィルシヤーク	基礎看護学	Greetings and Registration	registration, occupation, nationality, ID card, interpreter
3	4/16(火)	1	231	Unit 2	ウィルシヤーク	基礎看護学	Hospital Departments/Directions	OB-GYN, ENT, ER, ambulance, dialysis, surgery, pharmacy
4	4/23(火)	1	231	Unit 3	ウィルシヤーク	基礎看護学	Vital Signs and Medical Questionnaire	questionnaire, history, allergy, diabetes, temperature, thermometer
5	5/14(火)	1	231	Unit 4	ウィルシヤーク	基礎看護学	Internal Medicine (1) Respiratory System/ENT	internal, phlegm, stubborn, asthma, itchy, symptom, respiratory
6	5/21(火)	1	231	Unit 5	ウィルシヤーク	基礎看護学	Internal Medicine (2) Cardiovascular System	fatigue, suffer from, dizzy, swelling, edema, sedentary, cramp
7	5/28(火)	1	231	Unit 6	ウィルシヤーク	基礎看護学	Internal Medicine (3) Digestive System	digestive, constipation, appetite, diarrhea, bowel, nausea, vomit
8	6/4(火)	1	231	Unit 7	ウィルシヤーク	基礎看護学	Urology	anemia, urinary, bladder, kidney, hesitancy, incontinent
9	6/11(火)	1	231	Unit 9 and Unit 10	ウィルシヤーク	基礎看護学	OB/GYN (Obstetrics and Gynecology) and Pediatrics	pregnant, abortion, C-section, menstrual, insomnia, genital
10	6/18(火)	1	231	Unit 8 and Unit 12	ウィルシヤーク	基礎看護学	Surgery/Orthopedics and Before and After an Operation	ache, chronic, ligament, tendon, anesthesia, catheter, IV drip
11	6/25(火)	1	231	Unit 11	ウィルシヤーク	基礎看護学	Giving Tests	CT, EKG/ECG, MRI, specimen, X-ray, ultrasound, diagnose
12	7/2(火)	1	231	Unit 13	ウィルシヤーク	基礎看護学	Medications	tablet, ointment, ooze, antibiotic, bacteria, machinery
13	7/9(火)	1	231	Final Test - Oral Interviews	ウィルシヤーク	基礎看護学		
14	7/16(火)	1	231	Oral Interviews	ウィルシヤーク	基礎看護学		
15	7/23(火)	1	231	Oral Interviews	ウィルシヤーク	基礎看護学		

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザインとの関連: 1、2、4

学位授与の方針との関連: 2、4

授業のレベル: 2

評価: 定期試験 40%, 参加 25%, 発表/オーラル面接 25%, 小テストとか 10%

教科書: English for Nursing Professionals, 2018年, 萌文書林

医療英語 I (ジアディーンクラス)

科目到達目標: Being a Good Medical English Speaker.

科目責任者 (所属教室): マーク・ジアディーン (非常勤講師)

連絡先: m.giardine@hotmail.com

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/2(火)	1	262	Classroom overview/introduction	ジアディーン	非常勤講師		Breaking the Ice" game
2	4/9(火)	1	262	Unit 2	ジアディーン	非常勤講師	A Patient's First Visit	Reception desk, patient information, filling in forms, role play
3	4/16(火)	1	262	Unit 3	ジアディーン	非常勤講師	Where's Internal Medicine	Giving Directions, medical departments, imperative verbs
4	4/23(火)	1	262	Unit 4	ジアディーン	非常勤講師	Admission to the Hospital	Prepositions of time, hospital room vocabulary, two-word verbs
5	5/14(火)	1	262	Unit 5	ジアディーン	非常勤講師	Giving Information	Countable/uncountable nouns, expressions of quantity
6	5/21(火)	1	262	Unit 6	ジアディーン	非常勤講師	Symptoms	Key medical words, other symptoms and problems
7	5/28(火)	1	262	Midterm Assessment	ジアディーン	非常勤講師	Oral Presentations	Details to follow
8	6/4(火)	1	262	Unit 7	ジアディーン	非常勤講師	Injuries and Emergencies	Parts of the body, past tense, levels of seriousness, role play
9	6/11(火)	1	262	Unit 8	ジアディーン	非常勤講師	How Are You Feeling?	Present continuous, internal organs, mime game, find the differences, odd word out
10	6/18(火)	1	262	Unit 9	ジアディーン	非常勤講師	A Patient's Medical History	Talking about past time, find someone who, scrambled sentences
11	6/25(火)	1	262	Unit 10	ジアディーン	非常勤講師	Medicine	Adverbs of frequency, modal verbs, types of medicine, vet visit
12	7/2(火)	1	262	Unit 11	ジアディーン	非常勤講師	I'm Going to Give You an IV	Future tense, what will happen? running dictation, review
13	7/9(火)	1	262	Final Examination 1	ジアディーン	非常勤講師		Oral examinations/essays
14	7/16(火)	1	262	Final Examination 2	ジアディーン	非常勤講師		Oral examinations/essays
15	7/23(火)	1	262	Final Examination 3	ジアディーン	非常勤講師		Oral examinations/essays

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザインに関連: 1、2、4

学位授与の方針との関連: 2、4

授業のレベル: 2

評価: Participation 30% Midterm 20% Essay 10% Final Exam 40%

教科書: Speaking of Nursing 2018年, NAN' UN-DO

医療情報システム学

科目到達目標：医療情報や医療情報システムの概要について理解できる。ネットワーク、セキュリティ、データベース関連の基本的事項を理解できる。
個人情報情報の取り扱いの留意点を理解できる。

科目責任者(所属)：網崎 孝志(生体制御学)

連絡先：E-mail: amisaki@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/3(水)	1	112	情報セキュリティ	網崎 孝志	生体制御学	情報セキュリティの概念と技術が理解できる。	クライアント/サーバ、ポート、ファイアウォール、公開鍵暗号、電子署名、電子認証、機密・完全・可用性
2	4/10(水)	1	112	データベース	網崎 孝志	生体制御学	関係データベースの基本概念が理解できる。	関係、スキーム、キー、正規化、関係代数、SQL、トランザクション、XML
3	4/17(水)	1	112	医療における個人情報保護	近藤 博史	医療情報部	医療における個人情報保護と情報漏洩対策が理解できる。	個人情報、患者の権利、OECDの8原則、情報漏洩対策
4	4/24(水)	1	112	医療情報システムの発展プロセス	近藤 博史	医療情報部	医療情報システム開発の現状と発展性、課題が理解できる。	医療情報システム、オーダリングシステム、電子カルテ
5	5/8(水)	1	112	電子カルテと地域医療ネットワーク	近藤 博史	医療情報部	医療情報システム運用の実際が理解できる。	電子カルテ、地域医療連携、標準化
6	5/15(水)	1	112	臨床検査と情報システム	野上 智	(非常勤講師)	検査部での被検者や検体の流れ、情報の管理・保護・伝達について理解できる。	検査部門システム、オーダ情報、バーコード、搬送ライン、ワークシート、本人確認、精度管理
7	5/22(水)	1	112	看護情報システム構築のプロセス	鈴木 康江	母性・小児家族看護学	看護情報システム運用について理解できる。	看護、情報処理、システム化
8	5/29(水)	1	112	情報の表現・管理と解釈	網崎 孝志	生体制御学	情報表現と管理システムを再確認し、情報の解釈に関する手法の概略が理解できる。	二進、符号化、標準化、EBM、ターミノロジー、オントロジー

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習をしてください。

教育グランドデザインとの関連：2、6、7

学位授与の方針との関連：1、3、4

授業のレベル：2

評価：定期試験 95%、演習 5%

実務経験との関連：医療情報部門、臨床検査部門、看護部門での実務経験を踏まえて講義する。

指定教科書：なし(プリントを配布する。)

参考書：1. 医療情報 第5版、情報処理技術編、医療情報システム編及び医学・医療編、徳原出版、2016年

人類遺伝学

科目到達目標: 遺伝機構を理解し、ヒトの遺伝学の意義、特異性、疾患との関連を自ら思考できる。

科目責任者(所属): 尾崎 充彦(病態生化学)

連絡先: 教務係に問い合わせること

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/3(水)	2	112	ヒト遺伝の基礎: 染色体の命名法、体細胞・減数分裂	久郷 裕之	遺伝子機能工学	染色体の命名法、核型記載法、体細胞および減数分裂の遺伝学的意義が理解できる。	IGSN、核型分析、染色体分染法、姉妹染色分体、相同染色体、細胞分裂
2	4/10(水)	2	112	ヒト遺伝の基礎: 染色体の構造	稲賀 すみれ	解剖学	染色体の構造について光学顕微鏡レベルから電子顕微鏡レベルまでの微細形態を理解する。	DNA、ヒストン、ヌクレオソーム、リボソーム、クロマチン、基本線維、高次構造、コイル(らせん)構造、バンド構造、動原体、紡錘糸
3	4/17(水)	2	112	ヒト遺伝の基礎: DNAの化学修飾	平塚 正治	細胞工学	DNAは遺伝物質であり、情報の貯蔵庫であるが、化学修飾によって可逆的制御を受けていることを理解する。	エピジェネティクス、DNAメチル化、遺伝子発現の抑制、細胞分化と初期化
4	4/24(水)	2	112	ヒト遺伝の基礎: 単一遺伝子疾患の遺伝形式	笠城 典子	基礎看護学	単一遺伝子疾患の遺伝形式、家系図作成と意義を理解する。	メンデル遺伝形式、家族歴、家系図、遺伝カウンセリング
5	5/8(水)	2	112	分子病の遺伝学: 総論	難波 栄二	研究推進機構 研究戦略室 (非常勤講師)	ヒト遺伝病の分子メカニズムを学ぶための遺伝学的基礎並びに研究の概要を理解する。	ヒト遺伝、多型、遺伝子変異、難治疾患、次世代シーケンサー、遺伝カウンセリング
6	5/15(水)	2	112	分子病の遺伝学: 先天性疾患・奇形症候群・染色体異常	岡崎 哲也	脳神経小児科学	先天異常と奇形に関しその診断と原因、診断の重要性、またその大きな原因である染色体異常に関して理解する。	先天異常、先天奇形、環境変異原、染色体異常、染色体異常症
7	5/22(水)	2	112	分子病の遺伝学: 出生前診断	岡崎 哲也	脳神経小児科学	染色体異常症や遺伝性疾患に対する出生前診断について学ぶ。	出生前診断、受精卵、絨毛診断、羊水検査、胎児画像、母体血清マーカー
8	5/29(水)	2	112	分子病の遺伝学: 免疫疾患、免疫不全症候群等	北村 幸郷	病態検査学	免疫系の欠落状態から、先天性免疫不全症を分類し、代表的疾患を説明できる。	連鎖無ガンマグロブリン血症、高IgM症候群、重症免疫不全症、ADA欠損症
9	6/5(水)	2	112	分子病の遺伝学: 神経疾患、先天性ライソゾーム病	檜垣 克美	研究推進機構 研究基盤センター (非常勤講師)	先天性ライソゾーム病の小児脳疾患の分子病態と治療法を理解する。	ライソゾーム酵素欠損症、蛋白質構造解析、低分子化合物療法
10	6/12(水)	2	112	分子病の遺伝学: トリプルレットリピート病	中山 祐二	研究推進機構 研究基盤センター (非常勤講師)	三塩基繰り返し配列が延長する疾患であるトリプルレットリピート病の遺伝メカニズムを理解する。	トリプルレットリピート病、三塩基繰り返し配列、脆弱X症候群および関連疾患、表現促進現象
11	6/19(水)	2	112	分子病の遺伝学: 代謝疾患、脂質代謝異常等	仲宗根 眞恵	生体制御学	先天性代謝異常症の病態と治療を理解する。	先天性代謝異常、新生児スクリーニング、アミノ酸除去ミレク
12	6/26(水)	2	112	分子病の遺伝学: 代謝疾患(肥満・糖尿病など)	花木 啓一	母性・小児 家族看護学	肥満の発症、インスリンの分泌と作用に関連する遺伝子異常を理解する。	体脂肪量調節機序、インスリン分泌、インスリン抵抗性、糖尿病、肥満関連遺伝子、俊約遺伝子
13	7/3(水)	2	112	分子病の遺伝学: 神経疾患、アルツハイマー病	河月 稔	生体制御学	家族性アルツハイマー病の原因遺伝子、遺伝子多型を理解する。	認知症、家族性アルツハイマー病、アミロイドベータ前駆体蛋白、プレセニリン1、2、アポリポ蛋白E4
14	7/10(水)	2	112	分子病の遺伝学: 筋疾患、筋ジストロフィー等	二宮 治明	生体制御学	筋ジストロフィー症の病態を理解する。	ジストロフィン、ジストログリカン、細胞骨格
15	7/17(水)	2	112	分子病の遺伝学: 消化器系疾患	尾崎 充彦	病態生化学	ヒト消化器系における主な遺伝性疾患の原因と病態を分子レベルおよび臨床レベルで理解する。	家族性大腸腺腫症(FAP)、遺伝性非腺腫症大腸癌(HNPCC)

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グラウンドデザインとの関連: 2, 3, 7

学位授与の方針との関連: 1, 2, 4

授業のレベル: 2

評価: レポート 60% 質疑応答等 30% 授業の態度 10%

実務経験との関連: 一部の講義については、現役の医師がその経験を活かし、各自の専門分野に関する講義を行う。

生活援助論演習Ⅱ

科目到達目標:健康障害を有する人(症状を有する人、治療過程にある人など)の日常生活援助技法を学ぶ
看護ケアの考え方と対象に合わせた専門的ケアの展開方法を学ぶ

科目責任者(所属教室):中條 雅美(成人・老人看護学) 連絡先:0859-38-6314

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/11(木)	3	262	シミュレーション演習オリエンテーション(老年)	山本 美輪	成人・老人看護学		
2	4/18(木)	3	262	回復期リハビリテーションから在宅に向けての看護① シミュレーション演習とグループワーク	山本 美輪 吉村 純子 三好 陽子	成人・老人看護学	脳梗塞患者の回復期リハビリテーションを支える援助を考察し、シミュレーションとグループワークから適切な援助・技術を考察し体現・表現できる	ワークは講義室262室 生活援助技術演習は成人看護学実習室
3	4/18(木)	4	262					
4	4/25(木)	3	262	回復期リハビリテーションから在宅に向けての看護① シミュレーション演習とグループワーク				
5	4/25(木)	4	262					
6	6/17(月)	4	111	演習オリエンテーション(成人)・講義	中條 雅美	成人・老人看護学	看護ケアの考え方について理解できる	
7	6/24(月)	3	111	肺切除を受けた人の生活援助(グループワーク)				
8	6/24(月)	4	111					
9	7/1(月)	3	111	肺切除を受けた人の生活援助(技術演習・ロールプレイ発表)	中條 雅美 谷村 千華 大庭 桂子 野口 佳美 酒井 知恵子 長谷川 慶幸	成人・老人看護学	肺切除を受けた人の生活援助について、計画立案・実施できる 肺切除を受けた人の専門的ケアの展開方法を理解できる	グループワークは講義室111室 生活援助技術演習は基礎看護学実習室
10	7/1(月)	4	111					
11	7/8(月)	3	111	糖尿病をもつ人の生活援助(グループワーク)				
12	7/8(月)	4	111					
13	7/22(月)	3	111	糖尿病をもつ人の生活援助(技術演習・ロールプレイ発表)			糖尿病をもつ人の生活援助について、計画立案・実施できる 糖尿病をもつ人の専門的ケアの展開方法を理解できる	
14	7/22(月)	4	111					
15	7/29(月)	3	111	まとめ	中條 雅美	成人・老人看護学	第1回から15回までの学びを統合できる	

※到達目標 授業のキーワードを確認の上、予習・復習をしてください。

教育グランドデザインとの関連:1、2、3、4、5、6
学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業のレベル:3

評価:成人・老年合わせて

評価:成人事例の演習:70%(ロールプレイ・課題提出40%、レポート30%)、老年事例の演習:30%(ワーク課題提出15%、技術演習課題提出15%)

実務経験との関連:成人期および老年期の看護経験/教育経験のある教員が、講義演習を行う。

教科書:配布資料

参考書:随時提示(配布資料に記載します)

その他:疾患・検査・治療の知識、問診・観察・測定技術、指導案作成、治療援助技術、文献検索の方法など、既習の知識・技術を活用する

成人看護学演習

- 科目到達目標: 成人の健康に係る課題についての判断、健康ニーズに応じた看護行為の実施、健康課題に係る課題の過程(看護の計画的な展開)をペーパー・ペインメントを通して学ぶ。
1. 健康障害をもつ人を身体的、心理的、社会的側面から全体像を理解し、計画的・意図的な看護実践を導くために必要な看護モデル(ロイ・ゴードン)を理解し説明することができる。
 2. 健康障害をもつ人を身体的、心理的、社会的側面の側面から全体像を理解し、計画的・意図的に看護実践を導くための看護の展開(ロイ・ゴードン)を行うことができる
 3. 健康障害(糖尿病、胃がん)を持つ人に対面し、援助的コミュニケーションを図りながら適切な看護を実践するために必要な情報を意図的に得ることができる
- 科目責任者(所属教室): 大庭 桂子(成人・老人看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/5(金)	1	111	オリエンテーション・事例で考えるロイ適応看護モデル 師がんと持つ人の事例紹介	谷村 千華 大庭 桂子	成人・老人看護学	ロイ適応看護モデルの概要、対象者・事例の把握	看護過程、適応様式、行動のアセスメント 刺激のアセスメント
2	4/12(金)	1	111	糖尿病を持つ人の事例検討① 観察の視点(整理)	谷村 千華 大庭 桂子	成人・老人看護学	観察(目的・方法)の視点について思考する	
3	4/19(金)	1	111	糖尿病を持つ人の事例検討② 対象者の理解(計画)	谷村 千華 大庭 桂子	成人・老人看護学	対象者を知っていくための計画を立てる	
4	4/26(金)	1	基礎看護学実習室	糖尿病を持つ人の事例検討③④ロールプレイ	谷村 千華 中條 雅美 大庭 桂子 野口 佳美 酒井 知恵子 長谷川 慶幸 高橋 洋一	成人・老人看護学 /医学教育学	立案した計画に沿ったロールプレイ(模擬患者参加型学習)	講義室は111室を使用する。 ロールプレイは基礎看護学実習室を使用。
5	5/10(金)	1	111	糖尿病を持つ人の事例検討④	谷村 千華 大庭 桂子	成人・老人看護学	ロールプレイの振り返り・学びの共有/援助的コミュニケーション	
6	5/17(金)	1	111	糖尿病を持つ人の事例検討⑤			観察(解釈・意味づけ)	
7	5/24(金)	1	111	糖尿病を持つ人の事例検討⑥			対象者の全体像を捉える/健康課題の判断/優先順位の決定	
8	5/31(金)	1	111	糖尿病を持つ人の事例検討⑦	大庭 桂子 谷村 千華	成人・老人看護学	対象者の個別性に応じた健康課題の目標設定/計画立案	
9	6/7(金)	1	111	オリエンテーション・ゴードンの機能的健康パターン、事例把握(胃切除術を受ける患者)			ゴードンの11の機能的健康パターンの枠組みを用い看護過程の方法を理解する/全身麻酔下での手術による侵襲や手術を受けたことによる影響についての基礎知識を理解する/事例検討に必要な知識の確認する	
10	6/14(金)	1	111	胃切除術を受ける患者の事例検討①			ゴードンの機能的健康パターンの枠組みに沿って重要な情報、気がかりとなる情報などに着目できる/アセスメントを行うことができる	ゴードンの11の機能的健康パターン、周手術期看護、胃がん、胃切除術
11	6/21(金)	1	111	胃切除術を受ける患者の事例検討②	大庭 桂子 谷村 千華	成人・老人看護学	問題関連図により対象者の全体像を捉えることができる/問題の特定化ができる	
12	6/28(金)	1	111	胃切除術を受ける患者の事例検討③	大庭 桂子 谷村 千華	成人・老人看護学	事例の対象者に対する適切な問題を挙げ、目標設定・看護計画の立案ができる	
13	7/5(金)	1	111	胃切除術を受ける患者の事例検討④	大庭 桂子 谷村 千華	成人・老人看護学	事例の対象者への看護過程を踏まえ、提示された1日の目標設定・看護計画を考えることができる	講義、グループワークでは、講義室111室を使用する。 ロールプレイは基礎看護学実習室を使用。
14	7/12(金)	1	基礎看護学実習室	実施(ロールプレイ)・評価	大庭 桂子 谷村 千華 中條 雅美 野口 佳美 酒井 知恵子 長谷川 慶幸	成人・老人看護学	周手術期にある対象者(胃切除術を受ける患者)へ計画的・意図的に看護を実施し、観察、評価することができる	
15	7/18(木)	3	111	まとめ	大庭 桂子 谷村 千華 野口 佳美	成人・老人看護学	周手術期にある患者の看護過程の振り返り、気づき・学びをまとめる	

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習復習をしてください。

教育グランドデザインとの関連:2、3、4、5

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業のレベル:3

評価:演習態度 20%、プレゼンテーション資料・発表内容・記録物 50% 定期試験 30%

実務経験との関連:看護の臨床経験を持ち、臨床実習も担当している教員が慢性期・周手術期の看護について実習で活用できるよう演習を支援する

指定教科書:糖尿病の事例:なし 胃がんの事例:ゴードンの機能的健康パターンに基づく看護過程と看護診断 江川隆子編 NOUVELLE HIROKAWA

成人看護学 急性期看護Ⅰ 概論・周手術看護、林直子編、南江堂、2015

全体:看護診断ハンドブック 第10版、リンダ J. カルベニート医学書院

参考書:1.糖尿病の事例:ロイ適応看護理論の理解と実践 医学書院、小田正枝編、2016 2.ザ・ロイ適応看護モデル、医学書院、松木光子監訳、2010

3.ロイ看護モデルを使った看護の実践 NOUVELLE HIROKAWA、松木光子編集、2006 4.病気がみえるシリーズ、MEDIC MEDIA、2009

5.ナーシングセラクションシリーズ 学習研究社 6.病気の地図帳、講談社、2010 7.エビデンスに基づく症状別看護ケア関連図、中央法規、2014

9.実習記録の書き方がわかる看護過程展開ガイド、照林社、任和子、2015 10.アセスメント覚え書 ゴードン機能的健康パターンと看護診断、マージョリー・ゴードン、2009

健康の危機と看護

科目到達目標:健康の危機的状況にある人への看護援助(生命危機状態への判断と緊急対応、的確な状況説明、身体的状態・状況への援助)について理解する。

科目責任者(所属教室):中條 雅美(成人・老人看護学) 連絡先:0859-38-6314

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/1(月)	3	111	健康危機状態にある成人の理解と救急医療体制や看護の特徴	中條 雅美	成人・老人看護学	健康の危機状態にある対象者を理解し、現在の救急医療制度の問題点や看護の役割を理解することができる。	生命危機、救急医療体制、プレホスピタルケア、救急患者や家族の特徴 看護師の役割、トリアージ
2	4/8(月)	3	111	健康障害の危機的状況や生命生活を維持するための看護援助:胸部外傷	酒井 知恵子	成人・老人看護学	健康の危機状態にある患者を理解するために必要な概念・理論を理解することができる。	外傷初期診療プロセス、肺挫傷、血気胸、フレイルチェスト、呼吸管理、疼痛のコントロール
3	4/15(月)	3	111	主要症状に対するアセスメントと看護援助	中條 雅美	成人・老人看護学	危機的状況のおこるメカニズム、原因と誘因、程度のアセスメントについて理解する。	胸痛、頭痛、腹痛、吐血、下血、痙攣、急性呼吸困難、外傷
4	4/22(月)	3	111	心肺停止状態にある人への救命処置と看護	長谷川 慶幸	成人・老人看護学	一次救命(BLS)と二次救命(ALS)に必要な技術を学ぶ。	心肺蘇生のプロトコル、BLSのABCD、ALSのABCD、心肺蘇生の断念
5	5/7(火)	3	111	健康危機状態にある患者のアセスメントと看護Ⅰ	三好 雅之	医学教育学	健康危機状態にある患者さんに対し、観察すべき情報を聴取することができる	ABCDE観察・評価 実践
6	5/13(月)	3	111	健康危機状態にある患者のアセスメントと看護Ⅱ	三好 雅之	医学教育学	SBARに沿って患者状態を記述できる 提示される事例の目標を達成することができる 事例からすぐに対応すべき状況が、そうではないのか判断し、その理由を記述できる	全身状態のアセスメント、迅速評価、1次評価、2次評価、SBAR
7	5/20(月)	3	111	健康危機状態にある患者のアセスメントと看護援助:中毒	中條 雅美	成人・老人看護学	薬物等による中毒に対する看護援助法を理解することができる。	急性中毒、中毒物質の吸収阻害、排泄促進、対症療法、全身管理
8	5/27(月)	3	111	前半:健康障害の危機的状態や状況にある人に対し、生命活動を維持するための看護援助:熱傷 後半:試験	中條 雅美	成人・老人看護学	前半:熱傷患者のショック期から回復期までの看護援助方法を理解することができる。 後半:学習目標の到達度を判定する	前半:熱傷の重症度判定、輸液量、ショック期からの回復過程、機能不全などによるリハビリ熱傷の重症度判定、輸液量、ショック期からの回復過程、機能不全などによるリハビリ

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習をしてください。

教育グランドデザインとの関連:1、2、3、5、6

学位授与方針との関連:1、2、4

授業のレベル:3

評価:試験

実務経験との関連:救急分野での臨床経験あるいは救急関連の資格及び教育経験を持つ教員がその経験を活かし、講義を行う。

教科書:事前に指示をします

参考書:講義時に提示します

尊厳のある死と看護

科目到達目標：特定の疾患をもつ対象者だけでなく、人生の終焉にある人々を対象とした死にゆく人やその家族へのケア（エンドオブライフケア）について学ぶ。

エンドオブライフの意味を考えながら、対象者とその家族に求められる最善の生活の質（QOL）を達成する、あるいは保証するケアのあり方、援助について考える。

科目責任者（所属）：山本 美輪（成人・老人看護学）

連絡先：質問等はメールで連絡をください。その後対応します。m-yamamoto@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/2(火)	3	111	死を取り巻く状況 死の疑似体験(オリエンテーション)	大庭 桂子	成人・老人看護学	死とは何かを理解する わが国の死を取り巻く状況について理解する 死の疑似体験への準備	生と死に関する統計、死の3兆候と脳死、死の意味、死にまつわる文化的様相、病による死／加齢による死／悪性疾患・非悪性疾患による病の軌跡と心の動き、悲嘆と喪失
2	4/9(火)	3	111	死の疑似体験	大庭 桂子	成人・老人看護学	死を迎えることについて疑似体験をし、対象者の世界を知る	喪失体験、悲嘆、死の受容過程
3	4/16(火)	3	111	人生の完結期のケア ホスピスにおけるエンドオブライフ	大庭 桂子	成人・老人看護学	療養方法や療養場所など、終末期の生き方、過ごし方について、その人の意思決定を支える看護援助について考える。	緩和ケア、ホスピス、生き方、過ごし方、いのちを生ききる、希望
4	4/23(火)	3	111	心を支えるコミュニケーション	大庭 桂子	成人・老人看護学	対象者およびその家族の心を支える医療者のコミュニケーションのあり方・内容を理解する。	悪いニュースの伝え方、コミュニケーション技法、ライフビュー、死について話すこと、死の準備教育
5	5/14(火)	3	111	症状緩和	大庭 桂子	成人・老人看護学	痛み、倦怠感などに対する看護について理解する。 トータルヘルインコントロール、生活の質を維持する援助を考える。	緩和ケア、トータルペイン、WHO方式がん疼痛治療法、オピオイド、非オピオイド
6	5/21(火)	3	111	病院での看取りとケア	大庭 桂子	成人・老人看護学	危篤・終末時の患者と家族への支援を理解する。	危篤、終末時の生理的変化・身体的変化、苦悩の緩和、基本的欲求の充足、希望の実現への支援、看取りをする家族への支援、死を迎えた後の看護援助
7	5/28(火)	3	111	在宅での看取りとケア 遺族への支援	大庭 桂子	成人・老人看護学	「家で過ごすこと」、在宅の場で自分らしい人生の終焉（エンドオブライフ）を支えるケアについて理解する。	在宅という場での安心と不安、生活の質、チーム連携、家族の心理・サポート、グリーフケア
8	6/4(火)	3	111	エンド・オブ・ライフ・ケアにおける倫理的課題	大庭 桂子	成人・老人看護学	人々が尊厳のある死を迎えるための課題について考える。	尊厳のある死、倫理的課題、意思決定（治療拒否の権利、DNAR指示）、セデーション
9	6/11(火)	3	111	高齢者の死生観	山本 美輪	成人・老人看護学	高齢者の死生観を理解するつことで、自らの死生観を見つめ高齢者への終末期ケアを考察することができる	高齢者 老年期 死生観 終末期ケア
10	6/18(火)	4	112	高齢者の地域・在宅での死を考える	山本 美輪	成人・老人看護学	在宅で終末期を迎える高齢者を支える他職種連携を理解する。	在宅という場での安心と不安、生活の質、チーム連携、家族の心理・サポート、グリーフケア
11	6/25(火)	3	111	高齢者の生活を支える：終の住みか① よなご幸福苑	山本美輪 高岡 久雄	成人・老人看護学 ゲストスピーカー	「終の住みか」特別養護老人ホームの役割・機能、入所者の生活を理解し、介護保険下施設における看護職の援助を考察できる①	高齢者死亡に関する諸統計、施設での死、不動による苦痛と安楽の援助、延命医療と意思決定
12	7/2(火)	3	111	高齢者の生活を支える：終の住みか② きんかい幸福苑	山本美輪 豊田 慶子	成人・老人看護学 ゲストスピーカー	「終の住みか」特別養護老人ホームの役割・機能、入所者の生活を理解し、介護保険下施設における看護職の援助を考察できる②	高齢者死亡に関する諸統計、施設での死、不動による苦痛と安楽の援助、延命医療と意思決定
13	7/9(火)	3	111	終末期にある高齢者の生活を支える：③ 身体拘束(虐待)尊厳を支える看護援助	山本美輪 永田 寿子	成人・老人看護学 ゲストスピーカー	介護保険と同時に施行された厚生省令「身体拘束の禁止規定」を理解し、施設における実際の取り組みを理解できる	高齢者に関する倫理的問題、高齢者虐待、身体拘束
14	7/16(火)	3	111	子どもの死と看護	南前 恵子	母性・小児家族看護学	小児の発達段階による死の概念の変化と死への過程の違いによって起こる小児とその家族が抱える問題を考える。	死の認識、慢性経過後の死、突発的な死、グリーフケア
15	7/23(火)	3	111	子どもを亡くす家族の看護	南前 恵子	母性・小児家族看護学	ターミナル期の小児を取り巻く人々への影響について考える。 流産、死産、新生児死亡を体験した家族へのケアを考える。	親、きょうだい、友人、医療者の思い、死の迎え方

教育グランドデザイン：1、2、3、4

学位授与との関連：1、2

授業のレベル：3

評価：レポート 80%、小テスト 20%

指定教科書：適宜資料を配布する。

母性家族看護学演習Ⅱ

科目到達目標:周産期の母子と家族へのエビデンスに基づいた看護実践の具体的方法について述べられる

科目責任者(所属):佐々木 くみ子(母性・小児家族看護学) 連絡先:0859-38-6324 keasaki@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/5(金)	3	262	オリエンテーション 妊娠期の看護実践過程①	佐々木 くみ子 大島 麻美	母性・小児 家族看護学	模擬事例妊婦のアセスメント、健康課題、看護目標を明確化できる	切迫早産、妊娠期のアセスメント、健康課題、看護目標
2	4/5(金)	4	262	妊娠期の看護実践過程②	佐々木 くみ子 大島 麻美	母性・小児 家族看護学	模擬事例妊婦の看護計画を立案できる	妊娠期の看護計画
3	4/12(金)	3	262	妊娠期の看護実践過程③	佐々木 くみ子 大島 麻美	母性・小児 家族看護学	模擬事例妊婦の入院中の看護実践をイメージできる	入院中の妊婦の看護
4	4/12(金)	4	262	妊娠期の看護実践過程④	佐々木 くみ子 大島 麻美	母性・小児 家族看護学	母性家族看護で活用する妊娠期の看護技術を説明できる	レオハルト腹部触診法、胎児心音聴取、腹部・子宮底計測、胎児心拍数陣痛図モニタリング、妊婦健康診査
5	4/19(金)	3	262	産褥・新生児期の看護実践過程①	佐々木 くみ子 大島 麻美	母性・小児 家族看護学	模擬事例褥婦・新生児のアセスメント、健康課題、看護目標を明確化できる	産褥・新生児期のアセスメント、健康課題、看護目標
6	4/19(金)	4	262	産褥・新生児期の看護実践過程②	佐々木 くみ子 大島 麻美	母性・小児 家族看護学	模擬事例褥婦・新生児の看護計画を立案できる	産褥・新生児期の看護計画
7	4/26(金)	3	262	産褥・新生児期の看護実践過程③	佐々木 くみ子 大島 麻美	母性・小児 家族看護学	模擬事例褥婦・新生児の入院中の看護実践をイメージできる	入院中の褥婦・新生児の看護
8	4/26(金)	4	262	産褥・新生児期の看護実践過程④ 実技試験オリエンテーション	佐々木 くみ子 大島 麻美	母性・小児 家族看護学	母性家族看護で活用する産褥・新生児期の看護技術を説明できる	復古状態観察技術、母乳育児支援技術、新生児バイタル測定・全身観察、育児技術
9	5/10(金)	3	262	分娩期の看護実践過程①	池田 智子	母性・小児 家族看護学	分娩期の看護実践過程をイメージできる	分娩経過、産痛、胎児機能不全
10	5/10(金)	4	262	分娩期の看護実践過程②	池田 智子	母性・小児 家族看護学	産婦の生理的ニーズを満たす看護計画を列挙できる、分娩期の胎児健康状態のモニタリング方法について述べられる	産婦の生理的ニーズ充足、産痛緩和、呼吸法、分娩期の胎児心拍数陣痛図
11	5/17(金)	3	262	母性家族看護で活用する看護技術①	佐々木 くみ子 鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	母性家族看護で活用する看護技術を学ぶ	バイタルサイン測定、レオハルト触診法、トッパ―法胎児心音聴取、腹部・子宮底計測、胎児心拍数陣痛図、膣洗浄・内診時の援助、持続点滴管理
12	5/17(金)	4	262	母性家族看護で活用する看護技術②	池田 智子 遠藤 有里		経産分娩時の産婦の看護に活用する看護技術を学ぶ	圧迫法、マッサージ法、呼吸法
13	5/24(金)	3	262	母性家族看護で活用する看護技術③	大谷 多賀子 大島 麻美		産褥期の観察と母乳育児支援に活用する看護技術を学ぶ	輪状マッサージ、子宮復古・悪露観察、外陰部観察、乳房・乳頭観察、直接授乳の観察
14	5/24(金)	4	262	母性家族看護で活用する看護技術④			新生児の観察と生活支援に活用する看護技術を学ぶ	バイタルサイン測定、全身観察、身体計測、沐浴、抱っこ、オムツ交換、哺乳瓶哺乳
15	5/31(金)	3	262	早産低出生体重児の看護実践過程	佐々木 くみ子	母性・小児 家族看護学	未熟性のアセスメントおよびデバイス・トッパメンタルケアについて理解する	胎児の発育・発達、ストレスサイン、デバイス・トッパメンタルケア
16	5/31(金)	4	262	日本の周産期医療システム 母性看護における退院支援	佐々木 くみ子	母性・小児 家族看護学	周産期医療システムの概要と母性看護における妊娠期からの切れ目ない養育支援について概要を説明できる	ハイリスク妊婦、ハイリスク新生児、スクリーニング、退院支援力・ンファレンス、多職種連携、退院調整、退院支援、社会資源
17	7/4(木)	3 4 5	262	母性看護技術試験	佐々木 くみ子 鈴木 康江 南前 恵子 池田 智子 遠藤 有里 大谷 多賀子 大島 麻美	母性・小児 家族看護学	事例のアセスメントに基づき適切な看護技術を用いる	妊産褥婦・新生児の看護

教育グランドデザインとの関連:2、3、4、6

学位授与の方針との関連:1、2、4

授業のレベル:3

評価:実技試験の合格を前提として、点数評価は、課題15点・定期試験85点とする

実務経験との関連:看護師・助産師として臨床看護(周産期・ウイメンズヘルス領域)の経験をもつ教員が母性家族看護の臨床実習に向けた実践的演習を行う

教科書:母性看護学Ⅱ マタニティサイクル、南江堂、大平光子他編、2018

参考書:新生児学入門第4版、医学書院、仁志田博司、2012。最新産科学正常編22版・異常編22版、文光堂、荒木勤、2008・2012。

ウエルネスからみた母性看護過程、医学書院、佐世勝正/石村由利子編、2012。

その他:母性家族看護学演習Ⅰ配布資料および模擬事例の看護過程展開資料を待参すること

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習をしてください。

小児家族看護学演習

科目到達目標:A3:I211. 小児の特性および健康障害に関する基礎知識を踏まえ、必要な援助を考えることができる。
2. 小児看護に必要な援助技術の意義と方法が理解できる。3. 健康障害をもつ子どもの看護過程を展開するための基礎知識を理解できる。

科目責任者(所属): 南前 恵子(母性・小児家族看護学) 連絡先: E-mail mimeiko@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/3(水)	3	262	小児のヘルスアセスメント①	南前 恵子	母性・小児 家族看護学	小児のヘルスアセスメントの意義と方法が理解できる。	環境調整、ヘルスアセスメント
2	4/10(水)	3	262	小児のヘルスアセスメント②	南前 恵子	母性・小児 家族看護学	小児のヘルスアセスメントの方法が理解できる。	インタビュ、計測、観察
3	4/17(水)	3	262	小児の生活を援助する看護技術	南前 恵子	母性・小児 家族看護学	小児の日常生活を援助する方法が理解できる。	子どもの生活環境、寝具、着衣
4	4/24(水)	3	262	小児の生活を援助する看護技術	南前 恵子	母性・小児 家族看護学	小児の日常生活を援助する方法が理解できる。	清潔、食事、排泄、事故防止、移動
5	5/8(水)	3	262	検査・処置を受ける小児の看護	南前 恵子	母性・小児 家族看護学	小児に説明する技術の必要性と方法が理解できる。	子どもにとっての検査・処置体験、説明、プレパレーション、採尿、注射、採血
6	5/15(水)	3	262	検査・処置を受ける小児の看護	南前 恵子	母性・小児 家族看護学	小児の治療・検査の援助の必要性と方法が理解できる。	固定、安静、与薬、薬物療法、救急ケア
7	5/22(水)	3	262	ヘルスアセスメントの実際 検査処置を援助する看護技術	南前 恵子 遠藤 有里 大谷 多賀子 大島 麻美	母性・小児 家族看護学	ヘルスアセスメントの実施方法が理解できる。 小児の治療・検査の援助の方法がわかる	身体計測、バイタルサインの測定、採尿
8	5/22(水)	4	262	ヘルスアセスメントの実際 検査処置を援助する看護技術	南前 恵子 遠藤 有里 大谷 多賀子 大島 麻美	母性・小児 家族看護学	ヘルスアセスメントの実施方法が理解できる。 小児の治療・検査の援助の方法がわかる。	身体計測、バイタルサインの測定、採尿
9	6/5(水)	3	262	病児の看護過程	遠藤 有里 南前 恵子	母性・小児 家族看護学	健康障害のある児の看護過程の展開の方法が理解できる。	対象、情報収集、アセスメント、計画立案、実施、評価、看護過程
10	6/12(水)	3	262	子どもの遊び①	南前 恵子 遠藤 有里	母性・小児 家族看護学	年齢に応じた遊びの必要性がわかる。	遊び、育児、プレパレーション
11	6/19(水)	3	262	子どもの遊び②	南前 恵子 遠藤 有里	母性・小児 家族看護学	年齢に応じた遊びの必要性がわかる。	遊び、育児、プレパレーション
12	6/26(水)	3	262	子どもと家族への保健指導①	南前 恵子 遠藤 有里	母性・小児 家族看護学	年齢に応じた保健指導の必要性がわかる。	保健指導、育児、プレパレーション
13	7/3(水)	3	262	子どもと家族への保健指導②	南前 恵子 遠藤 有里	母性・小児 家族看護学	年齢に応じた保健指導の必要性がわかる。	保健指導、育児、プレパレーション
14	7/10(水)	3	262	子どもの遊びと保健指導：発表	南前 恵子 遠藤 有里	母性・小児 家族看護学	年齢に応じた遊びについて説明できる。	発達段階、遊び、育児
15	7/17(水)	3	262	子どもの遊びと保健指導：発表	南前 恵子 遠藤 有里	母性・小児 家族看護学	年齢に応じた保健指導について説明できる。	発達段階、保健指導、プレパレーション

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習をしてください。

教育ブランドデザインとの関連: 1、2、3、4、5、7
学位授与の方針との関連: 1、2、3、4
授業のレベル: 3

評価: 定期試験 70% 発表 10% レポート 20%
実務経験との関連: 看護師としての実務経験のある教員が小児看護について講義し実技を指導する。

教科書: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論、医学書院、奈良間美保 他、2017年 小児看護技術、南江堂、今野美紀 他、2015年
発達段階を考えたアセスメントにもとづく小児看護過程、医師薬出版株式会社、荏津智子、2012年

参考書: ナーシンググラフィック29 小児看護技術、メヂカ出版、中野綾美、2014年 写真でわかる小児看護技術、インターメディカ、山本恵子、2015年

公衆衛生看護学演習

科目到達目標：地域看護を展開するための基本技術である地域診断と健康教育、家庭訪問に関する理論と技術が修得できる。

科目責任者(所属)：松浦 治代(地域・精神看護学)

連絡先：bmharu9@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/4(木)	1	111	地域診断に用いるモデル 地域診断演習オリエンテーション	松浦 治代 金田 由紀子 徳嶋 靖子	地域・精神看護学	地域の健康状態をアセスメントする方法について理解する コミュニケーション・アズ・パートナー・モデル、Precede proceed modelを理解する。 特定の健康課題に対するPPモデルの活用方法を理解する。 演習目的、内容、方法、進め方が理解できる。	地域看護診断、コミュニティ・アズ・パートナー・モデル、Precede Proceed model、アセスメント、分析 診断、計画、評価、予防、地区調査、エスノグラフィ、インタビュー、ネット
2	4/4(木)	2	111	地域診断の展開技術① 人口動態統計の分析	松浦 治代	地域・精神看護学	人口動態統計から地域の状況を読み取る。	人口動態統計、尺度化、比較
3	4/11(木)	1	111	地域診断の展開技術② 人口動態統計の分析	松浦 治代 金田 由紀子 徳嶋 靖子	地域・精神看護学	人口動態統計データのアセスメント結果を発表し、ディスカッションする。地域の健康課題を抽出するにあたり、必要な情報とその情報の収集方法を理解する	人口動態統計、尺度化、比較、推論
4	4/11(木)	2	111	情報収集の方法 グループワーク	松浦 治代 金田 由紀子 徳嶋 靖子	地域・精神看護学	地域診断に必要な情報を収集、分析できる。(死因)	人口動態統計、要約、推論
5	4/18(木)	1	111	地域診断の展開技術③ モデル地区の死因分析	松浦 治代 金田 由紀子 徳嶋 靖子	地域・精神看護学	地域診断に必要な情報を収集、分析できる。 悪性新生物を課題として、さらに分析できる 健康指標に関する情報のアセスメント、分析ができる	健康状態の指標となる情報、1次アセスメント、要約、比較、分析
6	4/18(木)	2	111	健康指標 グループワーク、発表	松浦 治代 金田 由紀子 徳嶋 靖子	地域・精神看護学	モデル地区で地域の特徴、実施している保健サービスのアセスメント、分析ができる	グループワーク 健診結果、医療費、介護保険、分析
7	4/25(木)	1	111	モデル地区の地域診断⑤ サブシステム	松浦 治代 金田 由紀子 徳嶋 靖子	地域・精神看護学	分析の結果を統合し、発表できる	二次アセスメント
8	4/25(木)	2	111	2次アセスメント発表	松浦 治代 金田 由紀子 徳嶋 靖子	地域・精神看護学	住民ニーズの抽出方法としてKJ法やグループインタビュー法を理解する。	KJ法、質的データ、キーインタビュー、プライマリインタビュー、グループダイナミクス、インタビューガイド、分析法
9	5/9(木)	1	111	地域診断の展開技術③ KJ法、グループインタビュー法を概説する	金田 由紀子	地域・精神看護学	KJ法が活用できる。	グループワーク、KJ法
10	5/9(木)	2	111	地域診断の展開技術④ KJ法の演習	松浦 治代 金田 由紀子 徳嶋 靖子	地域・精神看護学	KJ法が活用できる。	グループワーク、KJ法
11	5/16(木)	1	111	KJ法の発表	金田 由紀子	地域・精神看護学	都道府県型保健所保健師の活動の実際を理解する。	保健所、保健師活動、連携、ネット
12	5/16(木)	2	111	保健所保健師の活動について	瀬尾 厚子	(非常勤講師)		

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
17	6/6(木)	1	111	モデル地区で地域診断の演習 計画立案	松浦 治代 金田 由紀子 徳嶋 靖子	地域・精神 看護学	収集した情報のアセスメント、分析、を統合し診断、計画立案できる。	アセスメントの統合、計画立案・評価 グループワーク
18	6/6(木)	2	111					
19	6/13(木)	1	111	モデル地区で地域診断の演習 計画立案 発表	松浦 治代 金田 由紀子 徳嶋 靖子	地域・精神 看護学	各グループで作成した地域診断結果を発表し、ディスカッションする。	計画立案・評価
20	6/13(木)	2	111	健康教育の方法と技術①	金田 由紀子	地域・精神 看護学	健康教育に活用するモデル・理論について理解する。グループダイナミクスの効果、自己効力を高める効果について理解する。	変化のステージモデル、保健信念モデル、自己効力感、社会学習理論、自己効力、グループダイナミクス
21	6/20(木)	1	111	健康教育の方法と技術②	金田 由紀子	地域・精神 看護学	健康教育における計画立案、実施、評価のプロセスについて理解する。 具体的な健康教育の手法および教材作成について理解する。	計画立案、企画書、実施、評価 視聴覚教材、アイスブレーキング
22	6/20(木)	2	111	健康教育の実施計画	金田 由紀子 松浦 治代 徳嶋 靖子	地域・精神 看護学	健康教育実施のための計画立案をする	企画書、指導案、グループワーク
23	6/27(木)	1	111	健康教育の実施計画	金田 由紀子 徳嶋 靖子 松浦 治代	地域・精神 看護学	健康教育実施のための計画立案および教材を作成する。	企画書、指導案、教材、グループワーク
24	6/27(木)	2	111	健康教育の実施計画				
25	7/4(木)	1	111	新生児家庭訪問演習説明 健康教育の実施計画	金田 由紀子 徳嶋 靖子 松浦 治代	地域・精神 看護学	保健師の実施する新生児訪問の概要が理解できる 健康教育実施のための教材を作成とデモンストレーションをする。	新生児訪問、相談、計画、関係形成 教材、グループワーク、デモンストレーション
26	7/4(木)	2	111					
27	7/11(木)	1	111	健康教育実施・評価 新生児家庭訪問	松浦 治代 金田 由紀子 徳嶋 靖子	地域・精神 看護学	健康教育計画を実施し評価する 模擬で家庭訪問を体験し、効果的な家庭訪問について考えることができる	健康教育実施・評価、グループワーク
28	7/11(木)	2	111					
29	7/18(木)	1	111	健康教育実施・評価 新生児家庭訪問	松浦 治代 金田 由紀子 徳嶋 靖子	地域・精神 看護学	健康教育計画を実施し評価する 模擬で家庭訪問を体験し、効果的な家庭訪問について考えることができる	健康教育実施・評価、グループワーク
30	7/18(木)	2	111					

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習をしてください。

教育グラウンドデザインとの関連：1、2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連：1、2、3、4

評価：定期試験70%、レポート等提出物30%

実務経験との関連：保健師業務に携わった経験を持つ教員が公衆衛生看護活動に活用する知識・技術を指導する。、現役の保健師が保健所保健師の業務役割について講義する。

指定教科書：1. 公衆衛生看護学jp 第4版、荒賀直子、インターメディカル、2015

2. 国民衛生の動向2016/2017、厚生省の指標増刊、厚生労働統計協会、2016

参考書：1. 発想法、中公新書、川喜田二郎 2. 続・発想法、中公新書、川喜田二郎

3. グループインタビュー法、医歯薬出版株式会社、安梅勲江、2001年

4. コミュニティアズパートナー、第2版、医学書院、エリザベスT. アンダーソン等編・金川克子他訳、2007年

5. 地域看護診断第2版、東京大学出版会、金川克子、2011年

第1回の講義に指定教科書、公衆衛生看護学Ⅰの配布資料を持参すること

在宅看護学演習

科目到達目標:生活と医療を統合する訪問看護実践に必要な知識・技術・態度の基礎を習得する。

科目責任者(所属):仁科 祐子(地域・精神看護学)

連絡先:nishina@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科 地域・精神看護学	到達目標	授業のキーワード
1	4/1(月)	2	111	イントロダクション 訪問看護過程概論、事例紹介	仁科 祐子	地域・精神看護学	看護過程(推論・検証過程)の再確認、訪問看護過程の特徴を理解する	ICF、訪問看護計画、臨床判断
2	4/3(水)	4	111	摂食・嚥下障害がある人の生活と看護を考える	仁科 祐子	地域・精神看護学	摂食嚥下障害がある人の観察項目が言える。 医療処置(在宅経腸栄養法・在宅静脈栄養法)の方法を理解する。 参考事例の看護を考えられる。	水分出納、脱水、低栄養、口腔ケア、12対脳神経 在宅経腸栄養法、胃ろう、栄養剤半固形成、在宅静脈栄養法、皮下埋め込み式カテーテル法
4	4/15(月)	2	地域実習室	摂食・嚥下障害がある人のケアの実践	箱崎 五月	(非常勤講師)	摂食・嚥下障害がある人のケアの実践について説明できる。	栄養アセスメント、摂食嚥下の5期のアセスメント
5	4/22(月)	2	111	脊髄損傷で排泄障害がある人の生活と看護を考える	仁科 祐子	地域・精神看護学	排泄障害がある人の観察項目を言える。 医療処置(膀胱留置カテーテル)や看護ケア(スキンケア・排便コントロール・褥瘡予防)の方法を理解する。 参考事例の看護を考えられる。	排便、流腸、腸蠕動音、尿失禁、過活動膀胱、神経因性膀胱 清潔間欠自己導尿(OC)、膀胱留置カテーテル、ストーマ、(透析)
7	5/20(月)	2	111	特別講義:訪問看護の実践を知ろう!	石橋 康子	(非常勤講師)	訪問看護の楽しさ、困難さ、やりがい等を知り、訪問看護実践のイメージをもつ。	やりがい、満足感、多職種協働、実践能力
8	5/29(水)	4	111	在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法を要する人の生活と看護を考える	仁科 祐子	地域・精神看護学	医療処置(在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法)や看護ケア(排痰法、吸引)の方法を説明できる	気道クリアランス、酸素ヘモグロビン解離曲線 家族支援、緊急時対応
10	6/12(水)	4		訪問看護過程(事例検討) 情報の整理→アセスメント→看護上の課題(ニーズ)→看護計画→			情報の整理→アセスメント→ニーズ→ケアプラン・看護計画を考え表現できる	ICF、看護上の課題(ニーズ)、ケアプラン、訪問看護計画
11	6/19(水)	4		実施(ロールプレイ)→再アセスメント・計画の修正(個人ワーク、グループワーク、ロールプレイ、全体討議を含む)	仁科 祐子	地域・精神看護学	看護計画の一部を実施できる(訪問看護場面のロールプレイ)。実施した看護を客観的に評価できる	観察、確認、フィジカルアセスメント、情報共有
12	6/26(水)	4	地域実習室				グループ発表、全体討議を通して、訪問看護過程の実践に必要な視点について、意見を述べる事ができる。	再アセスメント、看護計画の修正(評価)
13	7/3(水)	4					訪問看護実践能力とはどのようなものか、自分の意見を述べる事ができる	コミュニケーション、マネジメント、臨床判断
14	7/10(水)	4					訪問看護実践能力とはどのようなものか、自分の意見を述べる事ができる	コミュニケーション、マネジメント、臨床判断
15	7/17(水)	4	地域実習室	特別講義:訪問看護実践に必要な能力について考えよう!	岡田 悦子	(非常勤講師)	訪問看護実践能力とはどのようなものか、自分の意見を述べる事ができる	コミュニケーション、マネジメント、臨床判断

教育ブランドデザインとの関連:1、4、5、6、7

学位授与の方針との関連:3

授業のレベル:3

評価 定期試験50%.....レポート50%.....

単位取得には定期試験の60%以上の得点を要する

①事例検討(ICFシート・ケアプラン・関連図・看護計画・レポート)

②非常勤講師の講義時のミニレポート ③その他非定期のミニレポート *レポートの詳細は授業中に提示します

*事前連絡のないレポートの提出遅れ、未提出は大幅な減点となります *授業態度も加味します(特にグループワーク)。

実務経験との関連: ○認定看護師(摂食嚥下障害看護)として実務を行っている看護師が、摂食嚥下障害のある人へのケアに必要な知識と技術について講義する。

○訪問看護師歴、訪問看護ステーション管理者歴ともに長い看護師が、訪問看護の実践の事例を用いながら、訪問看護の魅力について講義する。

○訪問看護師歴、訪問看護ステーション管理者歴ともに長い看護師が、訪問看護事例を用い、アセスメントやケアの実践を講義する。

注)実習との兼ね合いで講義日程が変則的になっていますので注意してください。

教科書:河野あゆみ編、新体系看護学全集 在宅看護論(株)メヂカルフレンド社

参考書:山内豊明:フィジカルアセスメントガイドブック 第2版(医学書院) 角田直枝:よくわかる在宅看護学

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習をしてください。

看護研究方法論

科目到達目標：1. 文献検索および文献検討を行い、知識、実践、研究の繋がりを理解し、研究成果を実践に活用する能力を高める。
2. 研究プロセスを理解できる。

科目責任者(所属)：笠城 典子(基礎看護学)

連絡先:教員室TEL:0859-38-6304

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/1(月)	1	111	看護における研究の役割／研究過程の概観	笠城 典子	基礎看護学	研究の意義と目的、科学研究の限界、研究過程についての理解できる。	理論、研究、実践、論理的推論、探索、記述、説明、予測、倫理的配慮
2	4/8(月)	1	111	研究デザイン／概念枠組み	笠城 典子	基礎看護学	研究の概念枠組みと研究デザインの種類と概要を理解できる。	研究課題、研究方法、概念枠組み、介入、観察、時間、変数、仮説
3	4/15(月)	1	111	研究計画／研究成果発表／研究の評価方法	笠城 典子	基礎看護学	研究計画書作成と研究成果発表方法について理解できる。評価方法の視点を理解できる。	研究計画、計画書作成、研究成果発表、評価
4	4/22(月)	1	111	文献検索／文献検討(1)	笠城 典子	基礎看護学	文献検討の目的、文献整理の方法と文献検討の構成、記述が理解できる。	分類、整理、研究背景、研究意義
5	5/7(火)	1	C:演習室	文献検索／文献検討(2)	笠城 典子	基礎看護学	文献検索のための資料とその活用方法を理解することができる。	医中誌web、PubMed、CINAHL、OPAC
6	5/13(月)	1	C:演習室	文献検索／文献検討(3)	笠城 典子	基礎看護学	関心領域の文献を入手することができる。	医中誌web、PubMed、CINAHL、OPAC
7	5/20(月)	1	111	evidence-based medicine、narrative-based medicine、量的記述研究	笠城 典子	基礎看護学	患者中心の医療におけるevidenceとnarrativeの重要性を知る。実態調査研究の特徴が理解できる。	EBMの過程、EBMとNBMの関係、実践への応用、変数、データ収集方法
8	5/27(月)	1	111	因果関係検証型研究／仮説検証型研究	笠城 典子	基礎看護学	実験研究、仮説検証型研究の特徴が理解できる。	説明、概念枠組み、仮説、操作化、変数、測定用具、予測、因果、仮説、実験操作、無作為化、成果
9	6/3(月)	1	111	質的帰納的研究／研究の分析的評価と研究成果の活用(1)	笠城 典子	基礎看護学	事例研究の特徴が理解できる。研究論文を分析的に評価し、研究成果の活用のための視点を考えることができる。	記述、探索、主要概念、関連要因、構造化、帰納法、経験、現象、概念抽出、観察、面接、背景、理論、方法論、クリティカルシンキング
10	6/10(月)	1	111	研究の分析的評価と研究成果の活用(2)	笠城 典子	基礎看護学	研究論文を分析的に評価し、研究成果の活用のための視点を考えることができる。	限界と可能性、背景、理論、方法論、研究倫理、クリティカルシンキング
11	6/17(月)	1	111	研究課題を考える過程	笠城 典子	基礎看護学	臨床疑問から研究課題を明確にするまでの視点、プロセスを理解できる。	臨床疑問、研究疑問、研究課題
12	6/24(月)	1	111 ATU1・2・5~10	臨床疑問から研究へ(1)	笠城 典子	基礎看護学	臨床上の疑問に対して文献検討を行い、研究課題として明らかにすることを理解できる。	臨床疑問、文献検討、研究課題
13	7/1(月)	1	111 ATU1・2・5~10	臨床疑問から研究へ(2)	笠城 典子	基礎看護学	研究課題に関する背景、研究目的、研究方法を見出すことを理解できる。	研究課題、研究目的、研究方法、文献検討、クリティカルシンキング
14	7/8(月)	1	111 ATU1・2・5~10	臨床疑問から研究へ(3)	笠城 典子	基礎看護学	研究目的を実施するための研究計画を立てることを理解できる。	研究目的、研究方法、研究倫理、研究計画
15	7/22(月)	1	111	臨床疑問から研究へ(4)	笠城 典子	基礎看護学	研究目的を実施するための研究計画を作成し、プレゼンテーションできる。	研究目的、研究方法、研究倫理、研究計画、プレゼンテーション

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習をしてください。

教育グランドデザインとの関連:2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業のレベル:3

評価:定期試験50%、課題等提出物25%、発表25%

実務経験との関連:図書館司書がその経験を活かして文献検索、文献入手方法について指導する。

教科書:1. 看護における研究 第2版、南裕子・野嶋佐由美編、日本看護協会出版会、2017年

参考書:1. 黒田裕子の看護研究 Step by Step 第5版、黒田裕子、医学書院、2017年

2. これからの看護研究—基礎と応用—第3版、小笠原知枝・松本光子(編)、ヌーヴェルヒロカワ、2015年

3. 系統看護学講座別冊 看護研究、坂下玲子・宮芝智子・小野博史、医学書院、2016年

4. ナーシング・グラフィカ 看護研究、川村佐和子(編)、メディカ出版、2018年

助産診断・技術学 I

科目到達目標: 妊娠期の助産診断をするための基礎知識を習得し、助産援助のための技術について理解する。

- 1) 正常過程をたどるための妊娠期の管理について説明できる。
- 2) 妊娠期の主な異常と医療処置について述べることができる。
- 3) 妊娠期の助産診断とケアについて理解し、説明することができる。

科目責任者(所属): 鈴木 康江 (母性・小児家族看護学)

連絡先: 0859-38-6326 アレスコ棟306研究室

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード	公開
1	4/2(火)	2	211	ガイダンス、妊娠の生理	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	妊娠の生理と診断に至る方法について理解し、妊娠による全身の変化について理解できる。	診断方法、生理的変化、マイナートラブル	
2	4/5(金)	2	211	妊娠期と薬剤	網崎 孝志	生体制御学	妊娠期の薬剤の使用上の留意点および使用方法とケアについて理解できる	臨界期、薬剤、薬理	
3	4/9(火)	2	211	母子を取り巻く環境	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	母子の健康と食生活、運動衛生と歯科保健、補完代替医療について理解できる	女性の栄養、妊娠と栄養、嗜好品と女性、補完代替医療	
4	4/12(金)	2	211	妊娠期: 親になる準備へのケア	佐々木 くみ子	母性・小児 家族看護学	正常な妊娠経過をたどるために、分娩を経て親になるための準備教育について理解できる		
5	4/16(火)	2	211	妊娠経過と生理: 妊娠中期	佐々木 くみ子	母性・小児 家族看護学	正常妊娠の初期～中期の経過を説明できる。	妊婦健診、胎勢、胎位、胎向	
6	4/23(火)	2	211	妊娠経過と生理: 妊娠後期	佐々木 くみ子	母性・小児 家族看護学	正常妊娠の後期の経過を説明できる。	妊婦健診、妊娠の診断、バースプラン	
7	4/23(火)	4	211	不育症、妊娠期外来での医学的管理	岩部 富夫	山陰労災病院 産婦人科部長 (非常勤講師)	不育症とそのケア、外来でされる妊婦管理について理解できる	不育症、妊婦管理	※
8	4/26(金)	2	211	ハイリスク妊娠のアセスメントと支援	池田 智子	母性・小児 家族看護学	ハイリスク妊娠のケアについて理解できる		
9	5/10(金)	2	211	ハイリスク妊婦のケア:	池田 智子	母性・小児 家族看護学	ハイリスク妊娠のケアについて理解できる	羊膜絨毛膜炎、前期破水、GBS	
10	5/14(火)	2	211	ハイリスク妊婦のケア:	池田 智子	母性・小児 家族看護学	ハイリスク妊娠のケアについて理解できる	胎盤位置異常、早産	
11	5/17(金)	2	211	助産ケア: 診断と指導 (1)	佐々木 くみ子	母性・小児 家族看護学	妊娠期における助産診断、診断過程について理解できる。妊娠期の保健指導方法について理解できる	助産診断、保健指導	
12	5/21(火)	2	211	助産ケア: 診断と指導 (2)	佐々木 くみ子	母性・小児 家族看護学			
13	5/24(金)	2	211	代謝 (GDM,	佐藤 絵理	女性診療科群	GDM妊婦の管理ケアについて理解できる	合併症 (糖尿病、甲状腺機能、血液など)	※1
14	5/28(火)	2	211	妊娠高血圧症候群	荒田 和也	生殖機能医学	妊娠高血圧症候群のメカニズムと予防法、発症時のケアについて理解できる	妊娠高血圧症候群	※
15	5/31(金)	2	211	子宮収縮剤の使用、無痛分娩	原田 崇	総合周産期 母子医療センター	子宮収縮剤の使用法について理解できる。無痛分娩の留意点について理解できる。	子宮収縮剤、分娩促進、分娩誘発、合併症、無痛分娩	※1

教育グラウンドデザインとの関連: 1、2、4、5、6、7

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業のレベル: 2

評価: 定期試験90%、レポート10%他

実務経験との関連: 診療部門、看護部門での実務経験を踏まえて講義する。

指定教科書: 1. 助産師基礎教育テキスト 4巻 妊娠期の診断とケア 日本看護協会出版会 2. 助産師基礎教育テキスト 7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア

参考書: ナースのための産科学、病気の見える産科学、マタニティガイドブック

産科診療ガイドライン2017 日本産婦人科医学会

エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠期・分娩期2016 日本助産師会

その他: 助産師国家試験の受験要件講義

到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

※助産実習関連施設等の助産師への公開

※1 GLOMIP認証研修申請中(臨床助産師への公開講義)

助産診断・技術学Ⅱ

科目到達目標：分娩期・産褥・新生児期の助産診断をするための基礎知識を習得し、助産援助のための技術について理解する

- 1) 分娩進行を診断するための方法を理解し、その技術法を述べることができる。
- 2) 分娩機転に応じた助産介助技術を述べることができる。
- 3) 正常過程をたどるための分娩期の管理について説明できる。
- 4) 分娩期の主な異常と医療処置について述べることができる。
- 5) 分娩期の助産診断とケアについて理解し、説明することができる。
- 6) 産褥・新生児期の助産診断をするための基礎的知識および技術について理解し、説明することができる。

科目責任者(所属)：鈴木 康江(母性・小児家族看護学)

連絡先：0859-38-6326, yusuzuki@tottori-u.ac.jp, アレスコ棟306号研究室

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	分野・診療科 母性・小児 家族看護学	到達目標	授業のキーワード	公開
1	6/7(金)	2	211	思春期・更年期のケア	池田 智子	母性・小児 家族看護学	思春期・更年期の特徴を理解し、必要な助産ケアがわかる。	思春期、更年期、セクサリティ、月経前症候群、月経困難症、更年期障害	
2	6/11(火)	2	211	分娩の経過と助産診断とケア	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	正常分娩の経過を説明できる。	産徴、分娩1、2期	
3	6/14(金)	2	211	胎児心拍モニタリング、胎児評価法	原田 崇	総合周産期 母子医療センター	分娩監視装置による検査法の意義と異常所見を説明できる。胎児・胎盤検査法の意義と異常所見を説明できる。	CTG、NST、fetal wellbeing、hPL、E3	※1
4	6/18(火)	2	211	分娩の経過と助産診断とケア	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	正常分娩の経過を説明できる。	分娩2期、分娩機転、分娩第3期、胎盤の剥離と娩出	
5	6/21(金)	2	211	分娩期の助産診断とケア	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	分娩期の助産診断とケアについて理解し、説明できる	助産技術、分娩介助、分娩時ケア	
6	6/25(火)	2	211	出生直後の新生児管理	安達 香奈	認定看護師 (非常勤講師)	出生直後の新生児の全身管理法を理解し、児を安全・安楽に養護する方法を理解できる。	NPCR、新生児蘇生、認定看護師新生児集中ケア、デバイス・ロブ・メンタルケア、ファミリー・セントーク	
7	6/28(金)	2	211	産褥期における運動機能合併	尾崎 まり	リハビリ テーション部	産褥期にかかる運動機能障害についての疾患の理解とケアについて理解できる。	妊産婦の腰痛、恥骨離開、DDH妊婦および新生児、新生児多指症、他	※
8	7/2(火)	2	211	異常分娩と助産診断とケア	佐々木くみ子	母性・小児 家族看護学	産道、陣痛の異常を説明できる。	回旋異常、微弱陣痛、遷延分娩	
9	7/5(金)	2	211	産科出血とその対応(常位胎盤早期剥離)	経遠 孝子	女性診療科群	産科救急・産科出血の原因と対処方法を理解できる。	産科救急、常位胎盤早期剥離、子宮破裂、胎児死亡、産科出血(子宮内反症、弛緩出血、癒着胎盤、その他)	※1
10	7/9(火)	2	211	異常分娩と助産診断とケア	佐々木くみ子	母性・小児 家族看護学	産道、陣痛の異常を説明できる。	回旋異常、微弱陣痛、遷延分娩	
11	7/12(金)	2	211	新生児期・新生児の適応生理的、フィジカル・エクサミネーション	花木 啓一	母性・小児 家族看護学	新生児の環境適応の生理的機序を理解し、フィジカル・エクサミネーションの方法を理解できる。	新生児適応、健康診査、フィジカル・エクサミネーション	※
12	7/16(火)	2	211	産褥期の経過(正常)とケア	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	産褥期の生理的適応を理解し、助産診断・ケアを理解する。	産褥期の生理的適応、助産診断・ケア	
13	7/19(金)	2	211	産褥期の経過(異常)とケア	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	産褥期の正常からの逸脱について理解し、説明できる。	退行性変化、進行性変化、親役割、愛着行動、ファミリー・ケア	
14	7/23(火)	2	211	母乳栄養	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	母乳育児の重要性について理解し、指導法がわかる。母乳育児支援方法が理解できる。	母乳授乳法、母乳哺育、乳房管理	
15	7/26(金)	2	211	家族計画・避妊法	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	家族計画の必要性について理解し、各種方法の特徴を理解した上で適切な避妊方法を選択ができる。保健指導法を理解できる。	家族計画、避妊法	

教育グランドデザインとの関連：1、2、4、5、6、7

学位授与の方針との関連：1、2、3、4

授業のレベル：2

実務経験との関連：診療部門、看護・助産部門での実務経験を踏まえて講義する

評価：定期試験90%、レポート10%他

指定教科書：

- ・助産師基礎教育テキスト 5巻 分娩期の診断とケア 日本看護協会出版会
- ・助産師基礎教育テキスト 7巻 ハイリスク妊産婦・新生児へのケア 日本看護協会出版会
- ・胎児心拍モニタリング 第2版 藤森敬也 医学書院
- ・胎児心拍陣痛図の評価法と対応 公益社団法人 日本産婦人科医会 医療安・日本版救急蘇生ガイドライン2015に基づく新生児蘇生法テキスト 第3版 マジカルビュー

参考書：ナースのための産科学、病気の見える産科学、マタニティガイドブック

産科診療ガイドライン2017 日本産婦人科医会

エビデンスに基づく助産ガイドライン—妊娠・分娩期2016 日本助産師会

その他：助産師国家試験の受験要件講義

※助産実習関連施設助産師への公開講義

※1 CLOMIP認証研修申請中(臨床助産師への公開講義)

医療英語Ⅱ（ウィルシヤークラス）

科目到達目標: Being a Good Medical English Speaking Nurse

科目責任者(所属): ティム・ウィルシヤークラス(基礎看護学)

研究室 TEL: 0859-38-6301、email: timw@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/7(月)	2	261	Self-introductions, course explanation	ウィルシヤークラス	基礎看護学		
2	10/21(月)	2	261	Unit 1	ウィルシヤークラス	基礎看護学	Greetings and Registration	registration, occupation, nationality, ID card, interpreter
3	10/28(月)	2	261	Unit 2	ウィルシヤークラス	基礎看護学	Hospital Departments/Directions	OB-GYN, ENT, ER, ambulance, dialysis, surgery, pharmacy
4	11/11(月)	2	261	Unit 3	ウィルシヤークラス	基礎看護学	Vital Signs and Medical Questionnaire	questionnaire, history, allergy, diabetes, temperature, thermometer
5	11/18(月)	2	261	Unit 4	ウィルシヤークラス	基礎看護学	Internal Medicine (1) Respiratory System/ENT	internal, phlegm, stubborn, asthma, itchy, symptom, respiratory
6	11/25(月)	2	261	Unit 5	ウィルシヤークラス	基礎看護学	Internal Medicine (2) Cardiovascular System	fatigue, suffer from, dizzy, swelling, edema, sedentary, cramp
7	12/2(月)	2	261	Unit 6	ウィルシヤークラス	基礎看護学	Internal Medicine (3) Digestive System	digestive, constipation, appetite, diarrhea, bowel, nausea, vomit
8	12/9(月)	2	261	Unit 7	ウィルシヤークラス	基礎看護学	Urology	anemia, urinary, bladder, kidney, hesitancy, incontinent
9	12/16(月)	2	261	Unit 9 and Unit 10	ウィルシヤークラス	基礎看護学	OB/GYN (Obstetrics and Gynecology) and Pediatrics	pregnant, abortion, C-section, menstrual, insomnia, genital
10	12/23(月)	2	261	Unit 8 and Unit 12	ウィルシヤークラス	基礎看護学	Surgery/Orthopedics and Before and After an Operation	ache, chronic, ligament, tendon, anesthesia, catheter, IV drip
11	12/24(火)	2	261	Unit 11	ウィルシヤークラス	基礎看護学	Giving Tests	CT, EKG/ECG, MRI, specimen, X-ray, ultrasound, diagnose
12	12/25(水)	2	261	Unit 13	ウィルシヤークラス	基礎看護学	Medications	tablet, ointment, ooze, antibiotic, bacteria, machinery
13	1/6(月)	2	261	Final Test - Oral Interviews	ウィルシヤークラス	基礎看護学		
14	1/20(月)	2	261	Oral Interviews	ウィルシヤークラス	基礎看護学		
15	1/27(月)	2	261	Oral Interviews	ウィルシヤークラス	基礎看護学		

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育ブランドデザインとの関連: 1、2、4

学位授与の方針との関連: 2、4

授業のレベル: 3

評価: 定期試験 40%, 参加 25%, 発表/オーラル面接 25%, 小テストとか 10%

教科書: English for Nursing Professionals, 2018年, 萌文書林

医療英語Ⅱ(戸野クラス)

科目到達目標: Being a Good Medical English Speaking Nurse

科目責任者(所属): 戸野 康恵(非常勤講師)

連絡先: 学務課を通して連絡

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・ 分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/7(月)	2	262	Meeting Patients	戸野 康恵	非常勤講師	初診時の問診を行う	registration, life-style questionnaire
2	10/21(月)	2	262	Taking a Medical History	戸野 康恵	非常勤講師	病歴について尋ねる	health problems, hospitalization, vaccination
3	10/28(月)	2	262	Assessing Patients' Symptoms	戸野 康恵	非常勤講師	症状について尋ねる	symptoms
4	11/11(月)	2	262	Taking Vital Signs	戸野 康恵	非常勤講師	バイタルサインの測定をする	vital signs
5	11/18(月)	2	262	Taking a Specimen	戸野 康恵	非常勤講師	血液検査、尿検査の説明をする	blood test, urine test
6	11/25(月)	2	262	Conducting Medical Examination	戸野 康恵	非常勤講師	検査の説明、指示をする	X-ray, ultrasound, ECG
7	12/2(月)	2	262	Assessing Pain	戸野 康恵	非常勤講師	痛みについて尋ねる	body parts, pain
8	12/9(月)	2	262	Advising about Medication	戸野 康恵	非常勤講師	薬の服用について説明する	medication, side effects
9	12/16(月)	1	262	Improving Patients' Mobility	戸野 康恵	非常勤講師	リハビリの援助をする	exercise, transfer
10	12/16(月)	2	262	Maintaining a Good Diet	戸野 康恵	非常勤講師	食事療法の助言をする	diet, nutrients, health conditons
11	12/23(月)	1	262	Caring for Inpatients	戸野 康恵	非常勤講師	入院中の生活について説明する	operation, hospital rules, schedule
12	12/23(月)	2	262	Coping with Emergencies	戸野 康恵	非常勤講師	救急患者に対応する	emergency
13	1/6(月)	2	262	review	戸野 康恵	非常勤講師	復習	
14	1/20(月)	2	262	oral presentations	戸野 康恵	非常勤講師	会話発表	
15	1/27(月)	2	262	Final Assessment	戸野 康恵	非常勤講師	試験	

教育グランドデザインに関連: 1、2、4

学位授与の方針との関連: 2、4

授業のレベル: 3

評価: 定期試験50%、発表30%、小テスト20%

教科書: Caring for People, 2014年, Cengage Learning

成人看護学実習Ⅰ(臨地実習3年次後期～4年次前期)

- 科目到達目標: 1. 対象者の思いや考えを理解し、その理解に基づいて円滑に意思疎通を図り、対象者との人間関係を形成できる
2. 援助的人間関係の形成に影響を及ぼす自己の在り方を内省することができる
3. 対象者を理解しつつ、個別性に応じた適切な看護行為を実施し、対象者に価値ある変化をもたらすことができる
4. 実習とおして、対象者にかかわる医療チームの役割と連携、協働について理解を深めることができる
5. 実習とおして、対象者にかかわる医療チームの役割と連携、協働について理解を深めることができる
6. 実習の中で、自己の関わりを客観的にとらえ、生涯にわたり専門性を深めていくための基礎となる能力を身につけることができる
7. 実習に伴う諸条件・実習場所での規律を遵守し、倫理観をもった行動ができる

連絡先: 0859-38-6315, chika01@tottori-u.ac.jp

科目責任者(所属教室): 谷村 千華(成人・老人看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1～68	別途指定 未定		鳥取大学 医学部附属病院/成人・老人看護学講座 研究教室	原則として1～2名の対象者を受け持つ。1名の対象者を2～3週間継続して受け持ち、その対象者を通して看護の在り方について学ぶ。 第1週目 ・実習環境を知り、効果的な学び方をつかむ。 ・卓越したスキルをもつ看護師の対象者への関わりやケアに共に参加することを通して、対象者に応じた効果的な看護ケアを学ぶ。 ・対象者とのかわりを通して、人間関係のあり方について学ぶ。 ・対象を理解し、健康課題の判断を行う。 第2週目 ・個別的な健康課題に応じた計画を立案し、看護を実施する。 第3週目 ・看護計画に沿って具体的に看護を実施し、看護の結果について評価を行い、計画の修正・追加、実施を行う。 ・看護目標の到達度を評価する。 第1週目～3週目まで通して * 考えて行動すること、行動しつつ考えること、行動(行為)を通して「看護とは何か?」「病ととも生きる対象者に対する看護とは何か」を学ぶ。 * 日々の看護実践やカンファレンスを通して、経験した看護や事象を意味づけ(対象者にとって、どのような意味があるのか、看護として正しいか)、それらを統合しながら、看護のあり方や自己の関わり方を洞察していく。 * 「行為のなかでのリフレクション」「行為の後のリフレクション」「行為についてのリフレクション」を経験の質を高めていく。	谷村 千華 大庭 桂子 野口 佳美 酒井知恵子 長谷川慶幸 中條 雅美	成人・老人看護学	1. 対象者の思いや考えを理解し、その理解に基づいて円滑に意思疎通を図り、対象者との人間関係を形成できる 2. 援助的人間関係の形成に影響を及ぼす自己の在り方を内省することができる 3. 対象者を理解しつつ、個別性に応じた適切な看護行為を実施し、対象者に価値ある変化をもたらすことができる 4. 実習とおして、対象者にかかわる医療チームの役割と連携、協働について理解を深めることができる 5. 実習の中で、自己の関わりを客観的にとらえ、生涯にわたり専門性を深めていくための基礎となる能力を身につけることができる 6. 実習に伴う諸条件・実習場所での規律を遵守し、倫理観をもった行動ができる 慢性的な経過をたどる健康障害をもちながら、病と共に生きる対象者の看護の特徴として、*1～*4を実習目標の下位目標とする。 *1 対象者が病とどのようにつきあってきたかに焦点をあてて、慢性的な健康障害と共に生きる対象を理解する(病の軌跡や受容過程、行動変容ステージなどの理論やモデルを援用する)。 *2 対象者の病気や障害の主観的意味を理解し、対象者の心理的側面にそった援護を実施する。 *3 対象者の病気や治療によって起こり得る症状や随伴する障害(機能低下)に対応し、セルフマネジメントできるようにするための援護を考え、実施する。 *4 対象者を生活者ととらえ、その人が自分らしく生きていくための生活の維持・改善、生活の再構築、生活範囲の拡大、自立のための援護を実施する。	慢性、対象理解、看護の方向性の理解、健康課題の判断と目標設定、看護行為の実施、評価、病みの軌跡、受容過程、行動変容ステージ、セルフマネジメント、生活者の再構築、医療チーム、倫理感、専門性の追求

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザインとの関連: 1.2.3.4.5

学位授与の方針との関連: 1.2.3.4

評価: 実習態度・実習内容(カンファレンスへの参加状況・資料提供、学習状況を含む)、提出物(実習記録、レポート)によって総合的に評価

詳細は実習要項参照(7月頃に配布予定)

実務経験との関連: 看護の臨床経験をもち、専門的知識を持つ教員が慢性疾患を持つ患者の看護について、上記学習到達目標を達成できるよう支援する

指定教科書: なし

その他: 事前に実習オリエンテーションを行うので、必ず出席すること

インフルエンザの予防接種を受けて実習に参加すること

看護学生の臨床実習用傷害保険に加入しなければ受講できない

成人看護学実習Ⅱ(臨地実習4年次前期)

科目到達目標:

1. 周手術期にある対象者・重症集中治療を受ける対象者の身体的、心理的そして社会的特徴やニーズを、対象の回復段階ごとに理解できる。
2. 周手術期にある対象者が辿る一連の回復過程(術前期から手術、手術侵襲からの回復期、リハビリテーション期、退院まで)を観察または予測し、計画的・意図的に周手術期における継続的な看護を展開できる。
3. 健康障害、治療法がもたらす心身の機能低下、生活への影響を理解し、対象者の回復段階に応じた看護援助が実施できる。
4. 対象者にかかわる医療チームの一員としての看護師の役割について理解し、他職種との連携、協働について学びを深めることができる。
5. 高度医療現場で治療を受ける対象者やその家族に対する看護師の役割、介入の視点、他の医療チームとの連携について学ぶことができる。
6. 対象者の看護を通して、自己のかかわりを客観的に捉え、生涯にわたり専門性を深めていくための基礎となる能力を身に付けていくことができる。
7. 実習に伴う諸条件・実習場所での規律を遵守し、倫理観をもった行動ができる。

科目責任者(所属教室):野口 佳美(成人・老人看護学)

連絡先: 0859-38-6319

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1～68	別途指定		鳥取大学医学部附属病院 成人・老人看護学講座研究室	1) 対象者: 原則として1名の対象者を受け持ち、その対象者を通して周手術期看護のあり方について学ぶ。 ・受け持ち対象者: 健康障害をもち周手術期にある 成人・65歳以下の対象者が望ましいが、状況によって70歳代になることもある。また、必ずしも術前から受け持てるわけではない。 2) 担当教員および臨地実習指導者、看護師などの指導の下に、対象者への個別的ケアを実践する。 3) 高度医療現場で治療を受ける対象者の特徴を理解すると共に、看護師の役割、介入の視点、他の医療チームとの連携・協働について学ぶ。	野口 佳美 中條 雅美 大庭 桂子 谷村 千華 酒井 知恵子 長谷川 慶幸 三好 陽子 吉村 純子	成人・老人看護学	1. 周手術期・重症集中治療を受ける対象者の身体的、心理的そして社会的特徴やニーズを、対象の回復段階ごとに理解できる。 2. 周手術期・重症集中治療にある対象者が辿る一連の回復過程(術前期から手術、手術侵襲からの回復期、リハビリテーション期、退院まで)を観察または予測し、計画的・意図的に周手術期における継続的な看護を展開できる。 3. 健康障害、治療法がもたらす心身の機能低下、生活への影響を理解し、対象者の回復段階に応じた看護援助が実施できる。 4. 対象者にかかわる医療チームの一員としての看護師の役割について理解し、他職種との連携、協働について学びを深めることができる。 5. 対象者の看護を通して、自己のかかわりを客観的に捉え、生涯にわたり専門性を深めていくための基礎となる能力を身に付けていくことができる。 6. 実習に伴う諸条件・実習場所での規律を遵守し、倫理観をもった行動ができる。	周手術期看護、急性期、合併症、異常の早期発見、医療チーム、連携・協働、倫理観、専門性の追求

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザイン: 1、2、3、4、5、6

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

評価: 実習態度、実習内容(カンファレンスの参加状況・資料提供、学習状況を含む)、実習記録内容・課題レポートによって総合的に評価

実務経験との関連: 看護の臨床経験をもち、専門的知識を持つ教員が周手術期にある患者の看護について、上記学習到達目標を達成できるよう支援する

指定教科書: なし

老年看護学実習(臨地実習3年次後期-4年次前期)

科目到達目標:高齢者の生活機能の変化を理解し、老年看護実践能力を養うことができる。

科目責任者(所属):山本 美輪(成人・老人看護学) 連絡先:質問等はメールで連絡をください。その後対応します。m-yamamoto@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1 ~ 68		別 途 指 定	別 途 指 定	老年看護学実習は、計3週間とし以下の内容とする 老1:介護老人福祉施設 1週間 原則1から2名の施設入所者を受け持ち、情報収集→アセスメント→生活援助→評価を行う。また介護老人福祉施設である特別養護老人ホームの機能や役割、他職種連携の実践を学ぶ。 老2:回復期リハビリテーション病院 1週間 原則1から2名の回復期にある高齢患者を受け持ち、情報収集→アセスメント→看護援助→評価を行う。また回復期にある高齢者やその家族への看護や支援を学び、回復期にある高齢者への看護援助を考察し実施する。また回復期リハビリテーション病院における高齢者を支える他職種連携を学ぶ。 老3:介護保険下施設等(デイケア、デイサービス、認知症対応グループホーム、サード付高齢者住宅 1週間 デイケア、デイサービス、認知症対応グループホーム、サード付高齢者住宅の機能、役割を学び、介護保険下施設での施設と地域・在宅をつなぐ高齢者へのサービスを学ぶ。	山本 美輪 三好 陽子 吉村 純子	成人・老人看護学	老1 介護老人福祉施設 1) 介護老人福祉施設である 特別養護老人ホームの役割・機能の実際を学ぶ。 2) 年期にある対象を総合的に理解し、対象の健康段階に応じた援助の方法を学ぶ。 3) 健康障害のある老年者の特性・個別性を考慮し、安全・安楽を配慮しながら、自律性を高める援助ができる。 4) 要介護状態または認知症のある老年者の環境ケアとコミュニケーションのあり方を学ぶ。 5) 老年期にある対象とのかかわりを通して、個人のQOLの向上・生きがいについて考察し、老年観を養う。 6) 入居高齢者を取り巻く保健・医療・福祉分野の他職種との連携と看護の役割が理解できる。 7) 特別養護老人ホームに入所している高齢者への生活援助を通して高齢者の自尊心や“その人らしさ”を支える援助を学ぶ。 老2 回復期リハビリテーション病院 1) 老年期にある対象を総合的に理解し、対象の健康段階に応じた援助の方法を学ぶ。 ① 受け持ち患者の加齢に伴う身体的・心理的变化を理解する。 ② 受け持ち患者の健康障害の種類と健康段階を理解する。 ③ 受け持ち患者の受けている治療・看護の実際と、援助の方向性を理解する。 2) 健康障害のある高齢者の特性・個別性を考慮し、安全・安楽を配慮しながら、自律性を高める援助ができる。 ① 受け持ち患者の障害された生活機能を理解する。 ② 受け持ち患者とその家族の望んでいるゴールを理解する。 ③ 高齢者の障害された機能の、再構築または適応に向けた援助が実施できる。 4) 在宅・施設療養移行の援助の体験を通して、高齢者を取り巻く保健・医療・福祉分野の他職種との連携の実際と看護の役割が理解できる。 5) 要介護状態または認知症のある高齢者の環境ケアとコミュニケーションのあり方を学ぶ。 6) 老年期にある対象とのかかわりを通して、個人のQOLの向上・生きがいについて考察し、老年観を養う。 老3 介護保険下施設であるグループホーム、デイケア、デイサービス、サード付高齢者住宅 1) グループホーム、デイケア、デイサービス、サード付高齢者住宅の役割・機能の実際を学ぶ。 2) 年期にある対象を総合的に理解し、対象の健康段階に応じた援助の方法を学ぶ。 3) 健康障害のある老年者の特性・個別性を考慮し、安全・安楽を配慮しながら、自律性を高める援助を学ぶ。 4) 要介護状態または認知症のある老年者の環境ケアとコミュニケーションのあり方を学ぶ。 5) 老年期にある対象とのかかわりを通して、個人のQOLの向上・生きがいについて考察し、老年観を養う。 6) サービス利用者を取り巻く保健・医療・福祉分野の他職種との連携と看護の役割が理解できる。	介護老人福祉施設・特別養護老人ホーム 回復期リハビリテーション病院 介護保険下施設等 他職種連携 認知症 コミュニケーション 生活機能評価 QOL 家族 その人らしさ 老年観

教育グラントデザインとの関連:1、2、3、4、5、6

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業レベル:4

評価:実習態度、実習内容(科目到達目標到達度等)、提出物によって総合的に評価

詳細は実習要綱参照

実務経験との関連:高齢者や認知症ケアを行ったことのある看護師臨床経験を持つ看護学教員がアセスメントからケア実施までの基本的知識や技術を指導する。

指定教科書:カルペニート著、看護診断ハンドブック、医学書院(2回生時老年看護学実習で購入予定)

参考書:山本美輪編:動面で学ぶ高齢者ケア講座 これからの高齢者ケア〜知る・織る・共感する Dear Medic(ディア メディック)山田律子・井出訓編:生活機能からみた老年看護過程 医学書院 ナーシンググラフィカ 老年看護学② 高齢者看護の実践、メディカ出版

その他:事前オリエンテーションに必ず出席すること

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

母性家族看護実習(臨地実習3年次後期-4年前期)

科目到達目標:周産期にある母子とその家族に対し基礎的看護が実践できる

科目責任者(所属):佐々木 くみ子(母性・小児家族看護学) 連絡先:ksasaki@tottori-u.ac.jp 電話 0859-38-6324

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1~45	別途指定	未定	未定	実習場所: 鳥取大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター 等 実習内容: 1. 対象者を受け持ち看護を実践する 2. 日常生活を送る妊産婦・新生児の看護を学ぶ 3. 保健・医療・福祉・福祉システム、チーム医療、他職種連携・協働を学ぶ	佐々木 くみ子 鈴木 康江 池田 智子 遠藤 有里 大谷 多賀子 大島 麻美	母性・小児 家族看護学	1. 周産期の生理的・心理社会的特性から、周産期の看護の必要性について述べるができる 2. 親子の相互作用を理解し、親子関係の形成を促すための援助について述べるができる 3. 周産期における対象の健康状態を理解し、その観察が実践できる 4. 母性看護の基本的援助技術が実践できる 5. 対象に行われる治療法を理解し、治療に伴う一連の過程に沿った援助を実践できる 6. 新しい子どもを迎える家族全体をアセスメントし、理解したファミリーケアについて述べるができる 7. 周産期・育児期にある対象者に関わる医療チーム、多職種・他機関の役割、連携、協働について説明できる 8. 実習を通して深めた、倫理観、生命観、親になることについて、自己の考えを述べるができる	リプロダクティブヘルス・ライツ、ヘルスプロモーション、ウェルネス、エンパワメント、自己決定、セルフケア、ライフ・トランジション、家族発達 EBN: evidence based nursing、家族中心のケア、親役割獲得過程、ポスティングとアタッチメント、親子の相互作用、生命倫理 チーム医療、多職種連携・協働、子育て世代包括支援、ワンストップサービス、ソーシャルキャピタル

教育グランドデザインとの関連:2、3、4、5、6、7 ※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連:1、2、4

授業のレベル:3

評価:看護実践70%、実習態度30%

実務経験との関連:看護師・助産師として臨床経験(周産期・ウイメンズヘルスケア)のある教員が母子とその家族に対する基礎的看護実践について実習指導を行う

教科書:母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル、南江堂、大平光子他編、2018. 母性看護学Ⅱ マタニティサイクル3刷、南江堂、大平光子他編、2018

参考書:新生児学入門第4版、医学書院、仁志田博司、2012. 最新産科学正常編22版・異常編22版、文光堂、荒木勤、2008・2012.

ウエルネスからみた母性看護過程、医学書院、佐世勝正/石村由利子編、2012.

その他:周産期医学を受講していることが望ましい

小児家族看護学実習(臨地実習3年次後期-4年次前期)

科目到達目標:地域や医療施設において生活している子どもと家族の関わりを通して、小児と小児看護の特性を理解する。さらに、生活援助や治療援助に関わる看護実践を体験することにより、対象を総合的に理解し、対象の個別性に応じた看護実践が展開できる基礎的な能力を身につける。

科目責任者(所属):南前 恵子(母性・小児家族看護学)

連絡先:mikeiko@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1～68	別途指定	別途指定	別途指定	保育園実習 乳幼児の保育に参加し、成長発達の観察、保育技術の実践、保育士・保育園看護師の関わりや保育環境について学ぶ。 病棟実習等 1)一人の患児を受け持ち、その児の成長発達及び健康生涯を理解し、看護援助を行なう。 2)保健・医療・福祉システム、チーム医療、他職種連携・協働を学ぶ。	南前 恵子 遠藤 有里 大谷 多賀子 大島 麻美 花木 啓一	母性・小児家族看護学	1)小児の特徴を理解し、成長発達を促すための援助方法がわかる。 2)小児の健康障害が小児とその家族に及ぼす影響を理解し、援助について考えることが出来る。 3)看護ニーズに関する情報を系統的にアセスメントし、健康課題を考えることが出来る。 4)理論的根拠をふまえ、対象の個別性に応じた看護援助を計画。実施できる。 5)小児・家族ににに関わる医療チーム、他職種・他機関の役割り、連携、協働について理解できる。	小児、成長発達、保育、生活習慣、健康の保持増進、健康障害、看護援助、家族支援、インフォームドアセント、プレパレーション、子どもの生活環境、安全、児童福祉、子育て支援

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザインとの関連:1、2、3、4、5、6、7

学位授与の方針との関連:1、2、3、4

授業のレベル:4

評価:看護実践 70%、実習態度 30%

実務経験との関連:看護師経験のある教員の指導のもと、小児看護に関する実習を行う。

教科書:系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論、医学書院、奈良間美保 他、2016年

公衆衛生看護学実習(臨地実習3年次後期-4年次前期)

科目到達目標: 市町村および都道府県型における公衆衛生看護活動の実践を具体的、総合的に理解し、看護の展開に必要な知識、技術、態度を修得する

科目責任者(所属): 松浦 治代(地域・精神看護学)

連絡先: bmhaaru9@tottori-u.ac.jp

回数	日付	時限	場所	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1 ～ 90	別途指定			事前に配布する要項を参照すること	松浦 治代 金田 由紀子 徳嶋 靖子	地域・精神看護学	市町村における保健福祉事業への参加を通じて、行政保健師の役割を理解する。 地域の社会的、文化的特性をふまえた健康問題の理解と、その発見と理解に必要な情報収集、アセスメント、活動計画立案、実施、評価の過程を理解する。 地域看護活動は個人、集団、地域社会へのアプローチを相互に運動させ展開することを理解する。 保健、医療、福祉の役割と連携のあり方を理解し、地域の特性にあったサービスの提供について学ぶ。 地域保健、医療、福祉に関わるチームの一員としての保健師の独自性と専門性を理解する。	地域看護診断、家庭訪問、健康教育 健康相談、集団・個別検診・健診、精神ケア、介護予防事業、関係者会議

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランドデザインとの関連: 1、4、5、6、7

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業のレベル: 4

評価: カンファレンスも含めた実習態度・参画度、提出物、

実務経験との関連: 現役保健師の指導の下、市町村、保健所等での公衆衛生看護活動に関する実習を行う

精神看護学実習(臨地実習3年次後期-4年次前期)

科目到達目標:

1. 精神障害をもつ人とかわり、対象の生活体験を知ることを通し、理解を理解するための精神看護の視点について理解する。
2. 対人関係プロセスを振り返ることを通し、自己理解及び対象理解を深め、ケアへ活かすための関心の深化と気づきを得ることにより、関係性を中心としたケアを実践するための基盤となる能力の獲得を図る。
3. 精神的な援助を必要とする人々への看護や相互作用を伴う実践を通し、精神看護における看護実践を学ぶ。
4. 精神保健上の健康課題をもつひとや家族についての地域の社会資源や支援、制度などを理解し、精神保健福祉の現状と課題について考えることができる。

科目責任者(所属教室):松浦 治代(地域・精神看護学) 連絡先:0859-38-6336、E-mail:bmharu9@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1-2			実習室	精神看護学実習オリエンテーション	松浦 治代 高間 さとみ 吉岡 伸一 安部 由紀	地域・精神看護学	1) 精神疾患を持つ人の看護について、疾患の理解と看護の7つの方略、コミュニケーション技法についての復習を行い、活用できる知識としての学習及び整理ができ、レディネスを高められる。 2) 精神看護学実習における目標について、個人の課題や傾向を踏まえた焦点化ができる。	精神疾患の医学的理解 精神看護の知的理解 精神看護の知的理解 レディネス 自己の傾向と課題の焦点化
3-5			実習室	精神看護学実習事前課題学習 実習目標の焦点化				
6-7			実習室	精神看護学実習直前オリエンテーション				
8-24			実習病院	精神科における精神看護学実習				
25-26			実習病院	精神科ケースカンファレンス				
27-28	別途指定		実習室	アセスメント個人フィードバック	松浦 治代 高間 さとみ 吉岡 伸一 安部 由紀	地域・精神看護学	1) 対象の理解 ①対象にとつての精神保健上の健康問題や生活上の困難をとらえ、対象自身がそれらをどのように体験しているのかを知ろうとする姿勢をもち、かわりに活かすことができる。 ②精神保健上の健康課題について、医学及び治療の観点からの説明を理解することができる。 ③対象の特性やストレンギス、価値、生き方などを、対象の生活史や家族背景、社会関係とのつながりから理解し、個別性の理解を図ることができる。 ④ケアの方向性について、学習者自身のアセスメントにどまらず、対象本人や家族、ケア者とともに考える姿勢を学ぶことができ、対象にとつての回復のイメージを共有し、ケアの方向性を導き出すことができる。 2) 関係性を中心としたケアの実践 ①対象の言動がもつ意味に関心をもち、対象理解を深めることができる。 ②かわりを通して体験した対人関係を振り返ることができ、自己理解および対象理解を深めることができる。 ③対象一看護師のかかわりを通して言動や価値の相互作用を理解し、援助的な対人関係の形成と自己活用を深めていくための基盤となる能力を身につけることができる。 3) 思考と感情の言語化 ①対象やケアにかかわる相互作用を通して自己に生じた感情や考えを、自身の言葉で表現し、他者に伝えることができる。 ②語ること、聴くことの実践を通して、自己と他者の感情や思考に触れ、インフォーマルな支援の意味合いを体験することができ、 4) 精神保健にかかわる資源についての理解 ①精神保健にかかわる連携や、タイミクス、チームについての実践を理解できる。 ②自己の価値観や倫理観に関心をもち、精神保健上の健康課題をもつ対象の尊厳を考慮した看護の役割を考えることができる。 ③精神保健上の健康課題をもつ対象を生活者としてとらえ、予防・維持・増進についての視点をもつことができる。	対象理解 精神看護 精神科看護 かたい理解とやわらかい理解 コミュニケーション 言語的コミュニケーション プロセスレコード 情報の統合 アセスメント 患者理解 患者一看護師関係の構築 沈黙 言語化 感情表現 医学的理解 病識 入院形態 精神保健にかかわる法律 行動制限 化学的拘束 保護室 かわりがケアになる 自己理解 相互作用 つ治療のかかわり 連携 作業療法 SST PSW 看護倫理 患者の権利 意図的観察 体験の意味づけ 価値観 ライフストーリー 社会的入院 病状理解 経過の理解 向精神薬 副作用 統合失調症 感情障害 発達障害 依存症 アディクション 認知症 エモーションナルデラシ 安全 ニーモズの焦点化 相互サポート グループ ダイナミクス 多職種連携 社会資源 など
29-37			実習病院	精神科における精神看護学実習				
38-43			実習病院	自立支援施設における精神看護学実習				
44-45			実習室	まとめカンファレンス				

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育ブランドデザインとの関連:2、3、4
学位授与の方針との関連:1、2、4
授業のレベル:3

評価:実習全般における「対象の理解」「思考や感情の言語化」「環境および社会資源の理解」「記録」の視点を総合して評価する

実務経験との関連:現役の看護師、自立支援施設指導者がその経験を活かし、精神疾患をもつ人へのかかわりについて指導する。

教科書:1. 精神看護学[1]精神看護の基礎 第4版、医学書院、武井麻子他著、2013年

参考書:1. 精神看護学[2]精神看護の展開 第4版、医学書院、武井麻子他著、2013年

3. 精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学 第6版(ヌーヴェルヒロワ、川野雅資編、2015) 4. 精神看護学①精神看護概論・精神保健 第3版、メジカルフレンド社、清水順三郎、神郡博編集、2011年

5. 根拠がわかる精神看護技術、メチカルフレンド社、山本勝則、藤井博英著編、2008年

在宅看護学実習(臨地実習3年次後期-4年次前期)

科目到達目標:疾患や障がいとともに地域・在宅で生活している人とその家族の生活を理解する。
 として、人々が地域・在宅で生活していくことを支援するための、統合的看護実践能力の基礎を習得する。
 科目責任者(所属):仁科 祐子(地域・精神看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1～45 別途指定			訪問看護ステーション	訪問看護ステーションのオリエンテーション	訪問看護師 (実習指導者) 仁科 祐子 安部 由紀	講座・ 分野・診療科 <		

教育グランドデザインとの関連:1、4、5、6、7 学位授与の方針との関連:3

評価: 実習態度・マナー・主体性等:10点

日々の記録:30点

看護過程の展開:25点

学内演習・カンファレンス:15点

レポート:20点

* 遅刻、記録提出遅れなどは大幅な減点となるので注意してください

教科書:河野あゆみ編、新体系看護学全集 在宅看護論 (株)メヂカルフレンド社

参考書:山内豊明,フィジカルアセスメントガイドブック 第2版,医学書院 角田直枝,よくわかる在宅看護学研

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

家族看護論

科目到達目標: 家族看護の必要性や意義を理解し、その理論背景を基に看護展開の手法について理解できる。

科目責任者(所属教室): 鈴木 康江(母性・小児家族看護学)

連絡先: 0859-38-6326、アレスコ棟306研究室

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード	公開
1	10/7(月)	3	262	家族看護とは何か ～家族看護学のめざすもの	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	家族看護の必要性が理解できる。家族看護での家族と看護者の役割が理解できる	家族機能	
2	10/21(月)	3	262	家族看護の基礎的理論	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	家族看護学の基礎となる理論が理解できる	システム理論、コミュニケーション理論、家族の構造	
3	10/28(月)	3	262	家族の発達課題、ライフイベントと病気、家族機能アセスメント	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	家族の発達を理解し、アセスメントできる	家族アセスメント	
4	11/11(月)	3	262	エコマップの書き方、仮説の立案	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	仮説の立て方を理解し、問題をかかえる家族、悪循環が想起できる	家族面談、エコマップ、ジェノグラム	
5	11/18(月)	3	262	家族への介入モデル	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	介入の基礎が理解できる。介入モデルの使い方が理解できる	家族の発達段階、機能アセスメント	
6	11/25(月)	3	262	家族看護の実践方法(1)	中村 由美子	(非常勤講師)	家族看護が必要な家族はどんな家族なのか、理解できる	エコマップ、仮説	※
7		4	262	家族看護の実践方法(2)	中村 由美子	(非常勤講師)	家族看護を臨床で展開する方法を理解できる	介入的な質問	※
8	12/25(水)	3	262	家族看護の実践	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	家族看護の実際について		

教育グラウンドデザインとの関連: 1、2、4、5、6、7

学位授与の方針との関連: 1、2、3、4

授業のレベル: 3

評価: 試験80点、発表と授業態度20点

実務経験との関連: 看護部門での実務経験を踏まえて講義する

教科書: グループワークで学ぶ、家族看護論(医学書院; 小林奈美)

参考書: 講義の中で紹介する

到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習をしてください。

※公開: 助産実習関連施設等の助産師、HOCの聴講可

看護の統合

科目到達目標：発達、健康、生活の場に応じた健康にかかわる課題の臨床判断能力を高める。適切な臨床判断に基づいた看護行為（生活援助、生活支援）を提供できる能力を高める。

科目責任者：看護学専攻主任

連絡先：mimeiko@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1～23	2月10日(月) ～ 2月21日(金)	未定	未定	統合A (1)臨床判断プロセスの明確化 (2)臨床判断プロセスの振り返り (3)自らの臨床判断の傾向や特徴、課題	看護学専攻 教員	基礎看護学	(1)臨床実習で体験した看護場面を想起し、臨床判断プロセスを表現することができる。 (2)臨床判断のプロセスを振り返り、自己の臨床判断の特徴・傾向に気づくことができる。 (3)適切な臨床判断を行うための思考の仕方を理解し、自己の課題を明確にできる。 (4)提示された事例をもとに、適切な臨床判断に基づいた看護実践の視点から援助方法を検討し、看護援助の実施と評価を通して、看護援助を提供できる能力を高めることができる。 (5)(1)～(4)の学びを統合し、「適切な臨床判断とは何か(構造と要因)」、「実習に活かしていくための自己研鑽の在り方を具体的な学習方法」について言語化することができる。	看護場面、看護事象、表現、臨床判断、判断プロセス、影響要因、批判的思考、感性、危険性の予測と対応、倫理的課題と対応、臨床判断、判断プロセス、影響要因、批判的思考、感性、看護実践能力、自己評価、自己課題の明確化、自己学習能力、アセスメント能力、コミュニケーション機能技術、ヘルスケアメント技術、生活援助技術、症状緩和およびコントロール技術、心身機能の維持に関する技術、治療・検査に伴う技術
		未定	未定	統合B (1)対象者の理解と看護援助計画の検討 (2)臨床判断に基づいた看護援助の実施①		成人・老人看護学		
		未定	未定	(3)臨床判断プロセスとその評価、看護援助の実施に関する課題 (4)学習強化と臨床判断に基づいた看護援助の実施②		母性・小児家族看護学		
		未定	未定	(5)臨床判断に基づいた看護援助の実施②の振り返り		地域・精神看護学		
		未定	未定	統合C (1)「適切な臨床判断とは何か」「実習に活かしていくための自己研鑽の在り方と具体的な学習方法」についての思考と言語化 (2)学生間での共有と学習内容の普遍化(普遍的な法則や概念を作り出すこと)				
		未定	未定					
		未定	未定					
		未定	未定					
		未定	未定					
		未定	未定					
		未定	未定					

教育グラウンドデザインとの関連：2、3、4、5、6、7 ※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

学位授与の方針との関連：1、2、3、4

授業のレベル：4

評価：到達目標の達成度、学習への参画状況などにより総合的に評価する。

実務経験との関連：看護師としての実践経験のある教員が、臨床判断とそれに基づく看護実践について学生の思考プロセスを支援する。

助産診断技術学演習 I

科目到達目標:分娩期の助産診断過程の基礎的知識・技術を理解し、基本的助産業務に必須な能力における自己の課題と解決策を明確にする。

科目責任者(所属):池田 智子(母性・小児家族看護学)

連絡先:0859-38-6325 E-mail: ikedat@tottori-u.ac.jp

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード	公開
1	未定			オリエンテーション			周産期に関する基礎的能力を確認し、学修の必要性・内容を理解する。	周産期・フジカルイグザミネーションの基礎的知識	
2	11/18(月)	4					妊娠中期から分娩入院の問い合わせ、対応、来院時の健康診査を理解し、ロールプレイを通して自己の課題を意識して整理できる。	来院の判断に必要な問診と対応、来院までの準備(産科・妊婦経過の把握、分娩室の準備)、	
3	11/19(火)	1					分娩期の助産診断過程の定義・特徴、アセスメントの視点を理解し、分娩第1期の経過・経過予測するために必要な観察項目を抽出できる。	来院時のアセスメントと健康診査に必要な技術、分娩期の診断(時期診断・経過診断・経過予測診断)・アセスメントの視点、観察内容	
4	11/19(火)	2							
5	11/19(火)	3		妊娠末期・分娩期の事例展開・個人学修			分娩第1期潜伏期から活動期、加速期・極期・減速期、分娩第2期の経過を理解し、①分娩経過と経過予測に必要な観察内容、②産婦自身が対処行動に適切であるための助産ケアのタ	分娩経過の理解、経過・経過予測するための観察項目・アセスメントの視点、産婦の基本的ニーズとケア、産痛緩和、パル	
6	11/19(火)	4		・ロールプレイ			イミング、方法、関わりを実践を通して理解する。	トグラム	
7	11/20(水)	1	助産実習室	・DVD学習	鈴木 康江 池田 智子 大谷 多賀子 大島 麻美	母性・小児 家族看護学			
8	11/20(水)	2					分娩期の助産ケア実践に必要なスキルを抽出し、自己の課題を明確にする。	課題の明確化、具体的解決方法の抽出	
9	11/20(水)	3							
10	11/20(水)	4							
11	11/21(木)	1		分娩介助技術			分娩室入室前の準備が理解できる。	分娩室入室までの準備(環境整備、器具の準備、新生児、救急処置、産婦、分娩介助者・間接介助者の準備)、尿の娩出	
12	11/21(木)	2					胎児の娩出介助の原理・方法を踏まえ、分娩介助技術のデモストを通して、分娩介助練習のために必要な基礎的知識・技術を確認する。	介助の原理・方法、人工破膜、肛門保護、呼吸法の指導、会陰保護、児頭・肩甲娩出、臍帯切断、新生児のルーチェンケア、胎盤娩出、軟産道検査、胎盤計測	
13	11/21(木)	3					出生直後の新生児のルーチェンケア、蘇生の初期処置、胎盤計測の基礎的知識・技術を確認する。	課題の明確化、具体的解決方法の抽出	
14	未定	3	シミュレーションセンター	軟産道の損傷・会陰切開とその修復(縫合術)	原田 嵩	総合周産期 母子医療セン ター (産科医)	軟産道損傷の原因・程度をアセスメントし、会陰裂傷の縫合をシミュレーションし、縫合術の手法、介助についてイメージできる。	会陰裂傷の原因・診断・分類、会陰切開の種類・時期と手法、会陰裂傷の縫合と看護援助	※
15	未定	4		妊婦健診・アセスメント(超音波検査法)			周産期における超音波検査法を理解し、超音波機器の使用方法を理解する。	超音波検査の原理、安全性、妊娠初期・中期・後期の超音波検査のシミュレーション	※

教育ブランドデザインとの関連:2、3、4、5

学位授与の方針との関連:2、4

授業のレベル:3

※助産関連講義資料、母性家族看護学関連講義・演習資料を整理し、到達目標を確認し、予習準備をして演習に臨んで下さい。

評価:レポート・ロールプレイ学習課題に対する自己評価・他者評価・ポートフォリオ、技術確認

実務経験との関連:診療部門、看護・助産部門での実務経験を踏まえて演習する

参考書:助産学実習ブック・母性実習ブック・新生児入門第4版・医学書院2012・最新産科学正常編22版・異常編22版・文光堂2008・2012・胎児心拍数モニタリング講座・メディカ出版2012。

助産師基礎教育テキスト5巻、6巻、母性看護学Ⅱ、新生児蘇生法テキスト第3版、産婦人科診療ガイドライン・産科編2014、エビデンスに基づく助産ケアガイドライン(妊娠期・分娩期)2016。

DVD:目で見える新生児看護1-4巻、目で見える母性看護1-6巻、産褥経過のアセスメントと支援1-4巻

その他:助産師国家試験の受験要件講義

集中で行います

助産業務管理論

科目到達目標：妊婦・産婦・褥婦・新生児が快適に生活できるための業務、病院管理、評価を学ぶ

①周産期医療システムの運用と地域連携、助産の果たす役割について理解できる

②場に応じた助産業務管理の実践が理解できる

③法に基づく助産師の業務管理について理解できる

科目責任者(所属)：大谷 多賀子(母性・小児家族看護学講)連絡先：

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	10/7(月)	1	211	助産管理の基本/理念	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	助産管理の基本がわかる 助産にかかると関連法規と助産業務について理解できる	助産管理、医療法、保助看法、母子保健法、母体保護法など
2	10/21(月)	1	211	産科補償制度、助産業務	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	産科補償制度について理解し、安全な出産環境とは何か考察できる	産科補償制度
3	10/28(月)	1	211	危機管理と助産：災害、医療事故	大谷 多賀子	母性・小児 家族看護学	危機管理について理解し、災害時及び医療事故への備えを助産師として対応できる	産科補償制度、医療事故、インシデント、災害、災害支援
4	11/11(月)	1	211	母子保健行政	大谷 多賀子	母性・小児 家族看護学	母子保健行政が理解できる	母子保健行政
5	11/18(月)	1	211	助産業務管理の実践：助産所、地域	西江 順子	開業助産師 (非常勤講師)	助産所の運営管理が理解できる	助産所、基準、助産業務ガイドライン
6	11/25(月)	1	211	地域での助産活動：子育て支援、クリニックでの助産業務管理	渋谷 あゆみ	アドバンス助産師 (非常勤講師)	地域での支援について理解できる。 クリニックでの助産管理について理解できる。	子育て支援、産後ケア事業、助産師出向支援
7	12/2(月)	1	211	助産業務管理の実践：院内助産、助産外来	平野 めぐみ	アドバンス助産師 (非常勤講師)	院内助産を運営する上で、どのようなスキルを必要とするか理解できる	院内助産、助産外来、産科診療ガイドライン
8	12/9(月)	1	211	助産師に求められるチーム医療、これからの助産師	鈴木 康江	母性・小児 家族看護学	チーム医療について理解し、その中で助産師が果たす役割について理解できる	助産師出向、新人助産師研修制度、助産師習熟度段階認定、卒後教育、ポートフォリオ

※到達目標・授業のキーワードを確認の上、予習・復習してください。

教育グランデザインとの関連：2. 3. 4. 6

学位授与の方針との関連：1. 2. 4

授業のレベル：

評価：定期試験90%、レポート10%他

実務経験との関連：助産の施設・地域での活動の実践経験をふまえて講義する

指定教科書：助産師基礎教育テキスト 2019年版 3巻 周産期における医療の質と安全 日本看護協会出版会

新版 助産師業務要覧 第3版(基礎編) 日本看護協会出版会

助産業務ガイドライン2014 日本助産師会

特に周知を要する事項：助産師国家試験の受験要件講義